

2 0 2 1 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 溪 仁 会

社会福祉法人 溪 仁 会 施設・事業所概要

(令和 4年 4月 1日現在)

【介護老人福祉施設】 (特別養護老人ホーム)

○西円山敬樹園

札幌市中央区円山西町4丁目3番20号

事業開始年月日 昭和57年 4月10日
入 所 定 員 123名 (短期入所生活介護14名)
付 帯 事 業 認知症対応型共同生活介護 (27名)
訪問介護・介護予防センター
小規模多機能型居宅介護 (登録12名)

○月寒あさがおの郷

札幌市豊平区月寒西1条11丁目2番35号

事業開始年月日 平成23年 8月 8日
入 所 定 員 80名 (短期入所生活介護8名)
付 帯 事 業 通所介護 (一般型45名)

○岩内ふれ愛の郷

岩内郡岩内町字野東69番地の4

事業開始年月日 平成24年 4月 1日
入 所 定 員 50名 (短期入所生活介護10名)

○きもべつ喜らめきの郷

虻田郡喜茂別町字伏見272番地の1

事業開始年月日 平成25年 6月 1日
入 所 定 員 80名
付 帯 事 業 訪問介護

○手稲つむぎの杜

札幌市手稲区前田2条10丁目1番7号

事業開始年月日 平成26年 6月 1日
入 所 定 員 80名 (短期入所生活介護10名)
付 帯 事 業 通所介護 (一般型65名)・居宅介護支援・介護予防センター
通所介護 (認知症対応型12名)・特定相談支援
小規模多機能型居宅介護 (登録29名)

【地域密着型介護老人福祉施設】

○菊水こまちの郷

札幌市白石区菊水上町4条3丁目94番地64

事業開始年月日 平成19年 7月 1日
入 所 定 員 29名
付 帯 事 業 小規模多機能型居宅介護 (登録29名)
サテライト型小規模多機能型居宅介護 (登録18名)

○るすつ銀河の杜

虻田郡留寿都村字留寿都186番地95

事業開始年月日 平成26年 4月 1日

入所定員 29名

付帯事業 通所介護（地域密着型10名）・居宅介護支援

【軽費老人ホーム】（ケアハウス）

○カームヒル西円山

札幌市中央区円山西町4丁目3番21号

事業開始年月日 平成 8年 4月 1日

入所定員 100名（特定施設入居者生活介護 含む）

【介護老人保健施設】

○コミュニティホーム白石

札幌市白石区本郷通3丁目南1番35号

事業開始年月日 平成 元年 4月10日

入所定員 100名（短期入所療養介護 含む）

付帯事業 通所リハビリテーション（55名）

訪問介護・居宅介護支援・訪問リハビリテーション

地域包括支援センター・介護予防センター

短期入所生活介護（19名）

認知症対応型共同生活介護（18名）

小規模多機能型居宅介護（登録29名）

○コミュニティホーム八雲

二海郡八雲町栄町13番地1

事業開始年月日 平成10年 4月28日

入所定員 90名（短期入所療養介護 含む）

付帯事業 通所リハビリテーション（45名）

居宅介護支援・訪問リハビリテーション・訪問介護

○コミュニティホーム美唄

美唄市東5条南7丁目5番1号

事業開始年月日 平成12年 4月14日

入所定員 80名（短期入所療養介護 含む）

付帯事業 通所リハビリテーション（55名）・訪問リハビリテーション

○コミュニティホーム岩内

岩内郡岩内町字野東69番地の26

事業開始年月日 平成19年 4月10日

入所定員 100名（短期入所療養介護 含む）

付帯事業 通所リハビリテーション（50名）・訪問リハビリテーション

地域包括支援センター・訪問看護・居宅介護支援

【在宅複合施設】

○美唄市東地区生活支援センターすまいる

美唄市東4条南5丁目1番4号

事業開始年月日 平成11年 4月 1日

実施事業 通所介護（一般型25名）・訪問介護・居宅介護支援
ライフサポートアドバイザー・福祉入浴

○青葉ハーティケアセンター

札幌市厚別区青葉町4丁目10番27号

事業開始年月日 平成11年12月 1日

実施事業 通所介護（一般型40名）・居宅介護支援・訪問看護
小規模多機能型居宅介護（登録29名）
児童デイサービス（10名）

○円山ハーティケアセンター

札幌市中央区北1条西19丁目1番地2

事業開始年月日 平成21年 4月 1日

実施事業 通所介護（一般型75名）・居宅介護支援

【認知症対応型共同生活介護】（グループホーム）

○グループホーム白石の郷

札幌市白石区本郷通3丁目南1番16号

事業開始年月日 平成12年10月10日

入所定員 18名（1ユニット9名×2）

○グループホーム西円山の丘

札幌市中央区円山西町4丁目3番21号

事業開始年月日 平成14年 7月 1日

入所定員 27名（1ユニット9名×3）

【通所介護】

○デイサービスセンターすまいる

美唄市東4条南5丁目1番4号

事業開始年月日 平成11年 4月 1日

通所定員 一般型25名

○あおばデイサービスセンター

札幌市厚別区青葉町4丁目10番27号

事業開始年月日 平成11年12月 1日

通所定員 一般型40名

○円山溪仁会デイサービス

札幌市中央区北1条西19丁目1番地2

事業開始年月日 平成21年 4月 1日

通所定員 一般型75名

○手稲溪仁会デイサービスつむぎ

札幌市手稲区前田2条10丁目1番7号

事業開始年月日 平成21年 4月 1日

通所定員 一般型65名

○月寒あさがおの郷デイサービスセンター

札幌市豊平区月寒西1条11丁目2番35号

事業開始年月日 平成23年 8月 8日

通所定員 一般型45名

○手稲溪仁会デイサービス織彩

札幌市手稲区前田2条10丁目1番7号

事業開始年月日 平成26年 7月 1日

通所定員 認知症対応型12名

○るすつ銀河の杜デイサービスセンター

虻田郡留寿都村字留寿都186番地18

事業開始年月日 平成27年 4月 1日

通所定員 地域密着型10名

【訪問介護】

○西円山敬樹園ホームヘルプステーション

札幌市中央区円山西町4丁目3番20号

事業開始年月日 平成 6年10月 1日

○コミュニティホーム白石ホームヘルプステーション

札幌市白石区本郷通3丁目南1番35号

事業開始年月日 平成 7年10月 1日

○ホームヘルプステーションすまいる

美唄市東4条南5丁目1番4号

事業開始年月日 平成11年 4月 1日

○コミュニティホーム八雲ホームヘルプステーション

二海郡八雲町栄町13番地1

事業開始年月日 平成25年 4月 1日

○ケアセンターころようてい

虻田郡喜茂別町字伏見272番地の1

事業開始年月日 平成25年 4月 1日

【訪問看護】

○訪問看護ステーションあおば

札幌市厚別区青葉町4丁目10番27号

事業開始年月日 平成15年 4月 1日

○訪問看護ステーション岩内

岩内郡岩内町字野東69番地の26

事業開始年月日 平成22年10月 7日

【訪問リハビリテーション】

- コミュニティホーム八雲訪問リハビリテーション
事業開始年月日 平成24年 8月 1日
二海郡八雲町栄町13番地1
- コミュニティホーム白石訪問リハビリテーション
事業開始年月日 平成25年 5月 1日
札幌市白石区本郷通3丁目南1番35号
- コミュニティホーム美唄訪問リハビリテーション
事業開始年月日 令和 3年10月 1日
美唄市東5条南7丁目5番1号
- コミュニティホーム岩内訪問リハビリテーション
事業開始年月日 令和 3年10月 1日
岩内郡岩内町字野東69番地の26

【小規模多機能型居宅介護】

- 小規模多機能型居宅介護菊水こまちの郷
事業開始年月日 平成19年 7月23日
登録定員 29名
札幌市白石区菊水上町4条3丁目94番地64
- 小規模多機能型居宅介護あおば
事業開始年月日 平成28年 9月 1日
登録定員 29名
札幌市厚別区青葉町4丁目10番27号
- サテライト型小規模多機能ホームるびなす
事業開始年月日 平成31年 4月 1日
登録定員 18名
札幌市白石区東札幌5条3丁目2番地32号
- 小規模多機能型居宅介護つむぎ
事業開始年月日 令和 元年10月 1日
登録定員 29名
札幌市手稲区前田3条9丁目2番7号
- 小規模多機能型居宅介護白石の郷
事業開始年月日 令和 3年10月 1日
登録定員 29名
札幌市白石区本郷通3丁目南1番16号
- 小規模多機能型居宅介護西円山の丘
事業開始年月日 令和 4年 3月 1日
登録定員 12名
札幌市中央区円山西町4丁目3番21号

【居宅介護支援】

○居宅介護支援事業所コミュニティホーム白石
事業開始年月日 平成12年 4月 1日

札幌市白石区本郷通3丁目南1番35号

○居宅介護支援事業所やくも
事業開始年月日 平成12年 4月 1日

二海郡八雲町栄町13番地1

○居宅介護支援事業所すまいる
事業開始年月日 平成12年 4月 1日

美唄市東4条南5丁目1番4号

○指定居宅介護支援事業所あおば
事業開始年月日 平成12年 7月 1日

札幌市厚別区青葉町4丁目10番27号

○溪仁会在宅ケアセンターつむぎ
事業開始年月日 平成21年 4月 1日

札幌市手稲区前田2条10丁目1番7号

○ケアプランセンターさつき
事業開始年月日 平成24年 5月 1日

岩内郡岩内町字野東69番地の26

○ケアプランセンターこころまるやま
事業開始年月日 平成24年 7月 1日

札幌市中央区北1条西19丁目1番地2

○ケアプランセンターこころようてい
事業開始年月日 平成29年 1月 1日

虻田郡留寿都村字留寿都186番地18

【介護予防支援】

○札幌市白石区第1介護予防支援事業所
事業開始年月日 平成18年 4月 1日

札幌市白石区本通4丁目北6番1号

○岩内町介護予防支援事業所
事業開始年月日 平成20年 4月 1日

岩内郡岩内町字野東69番地の26

○札幌市白石区第3介護予防支援事業所
事業開始年月日 平成25年 4月 1日

札幌市白石区本通17丁目南5番12号

【地域包括支援センター】（札幌市・岩内町からの受託事業）

○札幌市白石区第1地域包括支援センター
事業開始年月日 平成18年 4月 1日

札幌市白石区本通4丁目北6番1号

○岩内町地域包括支援センター

岩内郡岩内町字野東69番地の26

事業開始年月日 平成20年 4月 1日

○札幌市白石区第3地域包括支援センター

札幌市白石区本通17丁目南5番12号

事業開始年月日 平成25年 4月 1日

【LSA】（美唄市からの受託事業）

○美唄市高齢者世話付住宅生活援助員派遣

美唄市東4条南5丁目1番4号

事業開始年月日 平成11年 4月 1日

【介護予防センター】（札幌市からの受託事業）

○札幌市中央区介護予防センター円山

札幌市中央区円山西町4丁目3番20号

事業開始年月日 平成18年 4月 1日

○札幌市中央区介護予防センター曙・幌西

札幌市中央区円山西町4丁目3番20号

事業開始年月日 平成18年 4月 1日

○札幌市白石区介護予防センター白石中央

札幌市白石区本郷通3丁目南1番35号

事業開始年月日 平成18年 4月 1日

○札幌市手稲区介護予防センターまえだ

札幌市手稲区前田2条10丁目1番7号

事業開始年月日 平成21年 4月 1日

【特定相談支援・障害児相談支援】（札幌市からの受託事業）

○相談室こころていね

札幌市手稲区前田2条10丁目1番7号

事業開始年月日 平成25年 1月 1日

【障害児通所支援】

○児童デイサービスぱぷりか

札幌市厚別区青葉町4丁目10番27号

事業開始年月日 令和 2年 8月 1日

【自主事業】

○美唄市福祉入浴

美唄市東4条南5丁目1番4号

事業開始年月日 平成17年 5月 1日

○事業所内保育所ゆいまーる

岩内郡岩内町字野東69番地の26

事業開始年月日 平成23年11月 1日

2021年度 事業報告

施設名：西円山敬樹園

1. 総括

2021年4月下旬に通所介護事業所において新型コロナウイルスの感染者が発生した事により、短期入所利用者、特養入所者へと感染が拡大した。結果として利用者、職員合わせて84名が感染する大規模なクラスターの発生となりました。当初は感染者数が増大しており、発症しても入院がままならず2週間が経過し、重度化する方は施設で亡くなる方もおりました。こうした状況下、発生から約2週間程度で施設内治療を行っていた利用者全員が札幌西円山病院への入院が可能となり、また、グループの各病院、施設の応援もいただき、発生から約1カ月で終息することができました。

今回の事は様々な業務課題を顕著にし、改善に向けた協議を幾度となく重ねて感染対策の視点からのケア提供へと体制の変更を行いました。また、発生の要因となった通所介護事業については、特養との共有する設備がほとんどであるために、感染リスクが高いと判断し7月末を持って廃止といたしました。

この度のクラスター発生に伴う関連する費用や、収益の減少は大きく、経営的な損失は多大であると共に、終息から1年近くが経過する今でも、職員への様々な影響が残っており継続した対応が求められています。結果として2021年度のブロック全体収益は年度の予算目標値を大きく下回り、収益は予算対比83.6%、収支差額マイナス11%という厳しい結果となりました。

ブロック事業の正常化に向け、2022年3月1日付で新たな在宅事業として「小規模多機能型居宅介護西円山の丘」を開設しました。近年、円山・宮の森地区でも地域ニーズが高く同様の事業所が増加傾向でしたが、開設時も予算通りの利用者確保ができ、2022年度以降も計画通りの運営が期待できると考えます。

2021年度については、クラスター発生と感染対策に迫られ、事業計画の殆どが未着手となりました。そのため2022年度の重点課題として①安定経営②人材の確保と成長③業務改善④地域との共生の4点を再度掲げ、ブロック内の連携強化の基に感染対策との両立を図りながら事業運営をして参ります。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

「経営改善会議」を継続して定例化し、稼働率や収益単価改善のための検討、介護業務効率化へ向けた基本方針を協議してきた。2021年度から2022年度への持ち越した課題もあり2021年度作成した「予算利用者達成に向けた計画書」に基づきながらの活動を継続して行く。

3. 職員状況（3月末現在）

○2022年3月31日職員状況

<西円山敬樹園（特養・短期・通所・訪問・居宅・予防）・グループホーム西円山の丘>

・医師	2名（内非常勤 2名）	看護職員	11名（内非常勤 1名）
・介護職員	76名（内非常勤 5名）	生活相談員	4名（内施設CM兼務 3名）
・介護支援専門員	5名（内非常勤 1名）	介護予防	4名
・作業療法士	2名	言語聴覚士	0名
・理学療法士	1名（内非常勤 1名）	管理栄養士	2名
・常勤ヘルパー	6名	非常勤ヘルパー	29名
・事務職員他	11名（内非常勤 0名）		
・合計職員数	150名（内非常勤39名）		

○2021年度職員異動状況（常勤職員）

・採用：18名（看護職員：2名、介護職員：14名、リハビリ職員：0名、予防センター：2名）
 ・退職：20名（看護職員：0名、介護職員：16名、リハビリ職員：1名、事務職員：1名、予防C：1名）

4. 研修参加・実施状況

○外部研修（施設職員参加状況）

・敬樹園：18回 ・通所介護：0回 ・訪問介護：1回 ・介護予防：12回
 ・西円山の丘：4回

○内部研修（施設職員参加状況）

・入所：事故防止	1回	感染予防	2回	抑制廃止／高齢者虐待防止	2回
褥瘡予防	2回	緊急災害	2回		
・その他：新人職員研修	3回	理念の浸透・運営方針	1回	個人衛生	1回
施設サービス計画	1回	看取り研修	2回	ハラスメント研修	5回
メンタルヘルス	0回				

・敬樹園：6回 ・通所介護：0回 ・訪問介護：9回 ・介護予防：8回
 ・西円山の丘：13回

2021年度 事業報告

西円山敬樹園

【入所：定員123名】

	目 標	実 績
延入所者数	44,530 人	37,898 人
一日平均入所者数	122.0 人	103.8 人
入所待機者	70人 (3月末現在)	
要介護度状況	： 平均要介護度 3.91	
協力医療機関	： 1. 札幌西円山病院	

【短期入所生活介護：定員14名】

	目 標	実 績
延入所者数	3,052 人	505 人
一日平均入所者数	8.4 人	1.38 人
要介護度状況	： 平均要介護度 1.63 (要支援1・2を除く)	

【通所介護：一般型30名】

	目 標	実 績
延利用者数	5,224 人	436 人
一日平均利用者数	20.4 人	18.6 人
要介護度状況	： 平均要介護度 2.0 (要支援1・2を除く)	

【訪問介護】

	目 標	実 績
延派遣回数（介護保険）	9, 3 5 2 回	8, 1 1 0 回
（介護保険外）		6, 7 4 0 回
一日平均利用回数（介護保険）	3 0. 3 回	2 6. 2 回
要介護度状況	： 平均要介護度 2. 2 （要支援 1・2 を除く）	

【介護予防センター】 （円山）

延相談件数 7 3 件

相談内容（重複有）

介護保険制度： 2 5 件 権利擁護： 1 件 高齢者虐待： 0 件
 介護予防： 0 件
 その他： 4 8 件（認知症・心身の健康・住まい・保健福祉等）

介護予防啓発普及事業実施件数

	実施回数	参加者数（延べ）
介護予防教室	1 0 7 回	7 6 1 人
（以下介護予防教室での実施内容内訳。重複有）		
転倒予防	9 2 回	栄養改善 3 回
閉じこもり予防	0 回	口腔機能向上 2 0 回
認知症予防	6 4 回	疾病予防 4 回
その他の介護予防	1 2 回（体力測定等）	
研修会・講演会・相談会	0 回	0 人
その他	2 3 回	2 6 9 人
広報物発行	2 4 回	5, 5 9 0 部

【介護予防センター】 (曙・幌西)

延相談件数 27 件

相談内容 (重複有)

介護保険制度: 7 件 権利擁護: 1 件 高齢者虐待: 1 件

介護予防: 5 件

その他: 20 件 (認知症・心身の健康・住まい・保健福祉等)

介護予防啓発普及事業実施件数

	実施回数	参加者数 (延べ)
介護予防教室	<u>84 回</u>	<u>914 人</u>

(以下介護予防教室での実施内容内訳。重複有)

転倒予防 72 回 栄養改善 5 回 口腔機能向上 14 回

閉じこもり予防 0 回 認知症予防 47 回 疾病予防 5 回

その他の介護予防 15 回 (体力測定等)

研修会・講演会・相談会	<u>0 回</u>	<u>0 人</u>
-------------	------------	------------

その他	<u>35 回</u>	<u>295 人</u>
-----	-------------	--------------

広報物発行	<u>23 回</u>	<u>2,518 部</u>
-------	-------------	----------------

2021年度 事業報告

西円山の丘

【グループホーム：定員27名】

	目 標	実 績
延入所者数	9,740 人	9,487 人
一日平均入所者数	26.7 人	25.9 人
入所待機者	21 人 (3月末現在)	
要介護度状況	: 平均要介護度 2.9	
協力医療機関	: 1. 札幌西円山病院	

【小規模多機能型居宅介護：登録者定員29名（通い定員18名、宿泊6名）】

	目 標	実 績
延登録者数	124 人	158 人
※延通い利用者数		52 人
※延宿泊数		50 人
※延訪問数		60 人
一日平均登録者数	4.0 人	6.0 人
要介護度状況	: 平均要介護度 1.88	

2021年度 事業報告

施設名：月寒あさがおの郷

1. 総括

2021年度開始直後に通所利用者による感染が確認され、その後次々と変異を遂げる新たなウイルスを迎え撃ちながらも、なんとか感染拡大を阻止してまいりました。しかしながら未だ終息の兆しが見えてこない状況下において、職員家族からの家庭内感染等の影響により、職員の出勤停止を余儀なくされ、急な勤務調整や既存職員による業務負担が重く押し掛かり、ご利用者へのサービスの質の維持に大変苦慮いたしました。私たち職員一人ひとりにとって、様々な場面での行動制限等を強いられてから2年が経過し、まさに「忍従」の年度となりましたが、この間沢山の苦悩や困難を克服し、そこから得た経験をもとに多くの知識を積むことが出来ました。また、今日までわたしたち一人ひとりが、感染対策への意識をより高く持ち、スタンダードプリコーションが習慣化されたことによって、感染症の影響を最小限での被害に留め、その状況に応じたサービスを提供することが出来たと感じております。

コロナ禍における職員の「健康」課題の改善に向けた積極的な取り組みと職員へのメンタル面にも十分配慮し、「人財育成」と「業務改善」を推し進めながら、働き甲斐のある職場環境づくりを目指し、「接遇」の向上と質の高いサービスの提供に努めてまいりたい。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況> 施設運営会議（毎月第4火曜日 参加者：管理者・各部署責任者）毎月の経営状況における課題等について協議

○実績（延利用者数 等）

・特養：収益達成率98.2% 稼働率97.4% 新規23名、退居25名（うち看取り6名） 延入院日数667日

特例利用枠を意識しコロナ禍においても安定的に推移した。

・短期：収益達成率30.5% 稼働率30.6% 実利用者5名（DSとの併用利用者2名）※2022年3月末

特例利用への移行を試みるも、感染対策の強化等により、利用控えの増加につながった。

・通所：収益達成率69.8% 稼働率65.3% 新規2名、体験12名、増回9名、中止19名 要介護度比率平均61.7%

ご利用者・職員による感染の発生等を受け、感染対策の強化等から事業の休止、一日当たりの利用人数制限、サービス提供時間の短縮等の対応により、利用控えと体験利用者の減少（＝新規利用に結び付かない）等による厳しい結果となった。

○加算取得（算定）状況

・特養：自立支援促進加算（12月分より）

・通所：栄養アセスメント加算・ADL維持等加算Ⅱ（11月分より）

○費用

・人件費：介護・看護職員の未補充分による減少

・事業費・事務費：利用者数減に伴う食材費等の減少、コロナ対策関連備品等購入分による増加、水道光熱費の増加 等

<今後の展開>

「withコロナ」を覚悟して、事業を出来るだけ休止することなく、感染症の影響を最小限に留めながら、事業を継続していくことが出来る体制を整えていく。

3. 職員状況（3月末現在）

○2022年3月31日職員状況【合計職員数83名】

特養・短期：管理者1名、看護職員5名、介護職員39名（内非常勤5名）、生活相談員2名（兼務）、介護支援専門員1名
作業療法士1名、栄養士2名、事務職員4名（内施設管理員1名）、介護アシスタント9名

通所：管理者1名、生活相談員3名（介護職員兼務）、介護職員6名（内非常勤1名）、看護師2名（内非常勤1名）

作業療法士1名、運転手4名、介護アシスタント2名

○2021年度職員採用・退職等状況

採用（転入）：7名【介護職員4名（内通所1名）、管理栄養士1名、介護アシスタント（外国人留学生）2名】

退職（転出）：9名【介護職員5名（内通所1名）、看護師2名（内通所1名）、事務職1名、介護アシスタント1名】

※1年を通して「常勤職員の退職」と「非常勤職員の採用」が多く、常勤換算数の乖離が生じ、パワーバランスに影響を及ぼした。

4. 研修参加・実施状況

○内外研修参加・実施状況（法人本部・溪仁会グループ研修含む）：延参加者30名

介護報酬改訂（LIFE・リスクマネジメント）関連、メンタルヘルス・ハラスメント・安全衛生関連、接遇関連 他

施設内感染対策研修【PPE着脱研修・手洗い研修（榎SARAYA様より）】

※感染状況に鑑み、ハイブリッド方式が多く採用されたことにより、移動時間の削減が図られた一方で、職場を離れての（気分を一新した）参加につながらなかった。

○実習受入等実施状況

介護専門学校（札幌医療秘書福祉・せいとく）、北海道医療大学（認知症看護分野認定看護師）、札幌みなみの杜・あいの里高等支援学校、札幌国際大学（教員過程介護等体験） 等

※介護の専門学校については、第4・5波期間を避け、リモートと対面を併用しながら、可能な限り現地実習とした。

その他については、感染状況に鑑みて、実習生の健康状態を確認しながら受け入れを行った。

2021年度 事業報告

月寒あさがおの郷

【入所：定員80名】

	目 標	実 績
延入所者数	29,021 人	28,276 人
一日平均入所者数	80.0 人	77.5 人
入所待機者	106 人 (3月末現在)	
要介護度状況	： 平均要介護度 3.8	
協力医療機関	： 1. 勤医協月寒ファミリークリニック	
	2. 定山溪病院	
	3. 大谷地病院 ※精神科医師療養指導あり	

【短期入所生活介護：定員8名】

	目 標	実 績
延入所者数	2,190 人	670 人
一日平均入所者数	6.0 人	1.8 人
要介護度状況	： 平均要介護度 2.4 (要支援1・2を除く)	

【通所介護：一般型45名】

	目 標	実 績
延利用者数	8,837 人	5,773 人
一日平均利用者数	34.4 人	23.1 人
要介護度状況	： 平均要介護度 1.8 (要支援1・2を除く)	

2021年度 事業報告

施設名： 岩内ふれ愛の郷

1. 総括

2020年に引き続き、コロナ禍で利用者・家族に大変ご迷惑ご不便をお掛けした1年であった。2021年も稼働率100%を目標に掲げてきたが、介護職員の人材不足課題が深刻であり、時間外勤務・休日勤務の増加が目立ち、迅速な入居の受入体制が実施できず、2020年度よりも一日平均入所者数を伸ばす事ができなかった。今後、より効果的な離職防止対策・業務見直し等を推進していく必要がある。また、コロナ禍であるからこそ家族や地域住民との情報共有も促進していきたい。

1. 職員確保については、配置基準は満たしているものの介護職員数不足が深刻である。下半期より他施設から応援職員として2名の介護職員のサポートに入っている。今後もコミュニティホーム岩内と連携し職員異動及び採用を継続して実施していく。
2. 入所においては一日平均入所者数46.0名と目標数を達成する事ができなかった。
3. 短期入所生活介護に関しても一日平均入所者数8.16名で目標数を達成する事ができなかったが、今後も老健・居宅（さつき）との連携を図りサービス提供をしていきたい。
4. コロナ禍で、家族や地域との交流が出来ていない。コロナが終息後に2019年から実施した「ふれあいカフェ（認知症カフェ）」等も定期的に実施し交流を深めていきたい。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

1. コミュニティホーム岩内と合同で実施している「岩内コミュニティの丘運営会議」「プロジェクト会議」を月1回開催し検討課題等を情報共有することで透明性の保持や可視化することができている。
2. 岩内ふれ愛の郷単独で役職者会議・職員全体会議を月1回実施。職員会議では、現場での検討課題を中心に議論。

<成果>

- ・ 昨年同様コミ岩（老健）の待機者が、定期的に短期入所生活介護を利用していただくよう対応できた。
- ・ 一体経営に向けてふれ愛・コミ岩の職員異動等も昨年より効率的に実施できた。
- ・ 加算算定状況や人件費率及び利益率に向けた目標数値の達成度確認等、全職員に周知が図れた。

<今後の課題>

- ・ 長期にわたり人材不足が続いていることは喫緊に課題である。効果的な応募・離職防止対策等を推進していきたい。
- ・ 科学的介護情報システム「LIFE」対応のため業務改善を進めていく。
- ・ コロナ禍であり改めて、感染症含め、自然災害・介護事故におけるリスク管理の強化を図っていく。

3. 職員状況（3月末現在）

○2022年3月31日職員状況

管理者： 1名	医師： 1名（内非常勤 1名）	
介護職員： 23名（内非常勤 4名）	看護職員： 4名	管理栄養士： 1名
事務職員： 2名（内非常勤 1名）	生活相談員： 2名	介護支援専門員： 1名
介護補助： 6名（内非常勤 6名）	日直・運転手： 3名（内非常勤 3名）	
合計： 44名（内非常勤15名）		

○2021年度職員採用・退職等状況（施設外転出者含む）

採用： 5名【介護職員4名 運転手 1名】
 異動： 8名【介護職員6名 管理栄養士1名 ケアマネ1名】
 退職： 10名【介護職員8名 生活相談員1名 運転手 1名】
 異動： 5名【介護職員3名 管理栄養士1名 看護師 1名】（コミ岩へ異動）

4. 研修参加・実施状況

○外部研修参加状況（溪仁会グループ・キャリア支援主催研修含）

延参加者数18名（2020年度23名より5名減）
 認知症介護者研修（Web）、感染症研修（岩内保健所）、エアマット利用研修（Web）、その他
 溪仁会グループ主催研修会、その他法人本部研修

○施設内研修開催回数10回（2020年度より回数減）

フェードバック（虐待予防）研修、リスクマネジメント研修、嘔吐物（感染予防）処理研修、防災研修、看取り研修
 接遇研修、感染対策研修、虐待防止研修、事例検討会、その他

○岩内コミュニティの丘合同研修開催回数11回

介護現場におけるリスクマネジメント研修、オムツのあて方研修、その他

2021年度 事業報告

岩内ふれ愛の郷

【入所：定員50名】

	目 標	実 績
延入所人数	<u>18,250 人</u>	<u>16,792 人</u>
一日平均入所者数	<u>50.0 人</u>	<u>46.0 人</u>
入所待機者	<u>1 人</u> (3月末現在)	
要介護度状況	: <u>平均要介護度 3.93</u>	
協力医療機関	: <u>1. 指定管理者 医療法人溪仁会 泊村茅沼診療所</u>	
	<u>2. 岩内協会病院</u>	
	<u>3. にしざき歯科医院</u>	

【短期入所生活介護：定員10名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>3,471 人</u>	<u>2,985 人</u>
一日平均入所者数	<u>9.5 人</u>	<u>8.16 人</u>
要介護度状況	: <u>平均要介護度 2.57</u> (要支援1・2を除く)	

2021年度 事業報告

施設名：きもべつ喜らめきの郷・るすつ銀河の杜

1. 総括

きもべつ喜らめきの郷は、上期は入院者が多く入所者数が安定せず年度末には盛り返したが1日平均利用者数は76.3名と2020年度の77.3名から1名減少した。るすつ銀河の杜は、稼働率100%の日が多く特に9月上旬から1月中旬まで稼働率が100%で収益のアップに繋がった。2020年同様きもべつ・るすつともにケアプランセンターこころようてい（居宅支援事業所）と連携できた。今後も新規入居者につながるよう連携していきたい。医師については、2021年度に喜茂別町立クリニックの指定管理者の変更があり、まだまだ連携が取れていない課題の一つになっている。介護職員は、慢性的な人手不足の中、効率的に業務できたことは評価したい又、介護職員の離職は一定の歯止めは利いたものの、依然として職員確保が経営上の最優先課題であることは明確であり外国人に頼らざるを得ない。次年度も引き続きの求人活動を実施し札幌市内と地方の職員の交流も引き続き検討したい。

2022年4月現在の外国人技能実習生は4名外国人特定技能の職員は5名の計9名できもべつ喜らめきの郷が7名、るすつ銀河の杜で2名の外国人が勤務している。就業が遅い2名を除き業務的には1人立ちをしており順調に勤務している。

在宅部門においては、居宅介護支援事業所の運営も軌道に乗っており、特に倶知安町内のニーズが高まり利用希望者を受けきれない状態になっている。通所介護においてもほぼ予算通りの結果となっている。訪問介護についても担い手がおらずほぼ職員1人での業務になっており在宅部門に於いても人手不足が顕著となっている。短期入所の受入れも喜茂別町のニーズに応え稼働しており空きベッドの利用となっている。次年度においても各事業所間の連携を強化し、在宅サービスの充実を図る。

地域活動についてはコロナの影響もありほとんどが手付かずの状態ではあるが、喜茂別町の委託事業（介護予防）に関しては2022年度に向けての礎ができ地域ニーズも考慮し事業の展開が期待される。

施設運営の基盤固めと、ICT（介護ロボット補助金を活用したシルエットセンサー導入済み）、又、新しいソフトを活用した業務の効率化、人材育成を強化したい。更に2022年度は栄養マネジメントに関する加算取得強化を目指したい。

2021年度は、きもべつ喜らめきの郷・るすつ銀河の杜で合わせて16名の方を看取った。亡くなる前日に入浴できたり、コロナ禍で面会制限はあったが、家族との面会も行いご満足頂ける結果になった。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

- ・毎月第3水曜日（16：30～）開催。 ※施設運営会議にて検討中。
- 1）効率的な人員配置と業務と改善
 - ・経過記録等のPC入力
 - ・効率的な勤務シフト及び部署間連携の検討
- 2）各種加算の算定（両施設）
 - ・LIFEに関する加算の算定
 - ・看取り介護加算（きもべつ14名、るすつ4名）算定。
- 3）費用等の見直し
 - ・清掃委託業者の業務内容と費用の検討を行い又、障がい者施設との連携を図り業務委託の検討。
- 4）その他
 - ・人財確保策として、外国人特定技能の受け入れ態勢の確保と職員研修の充実、職員確保のための更なる住宅等の体制の整備を実施。

3. 職員状況（3月末現在）

- 2022年3月31日職員状況 総職員数 101名（きもべつ67名、るすつ34名）
 - 非常勤医師4名、看護職員7名（内非常勤2名）、介護職員73名（内非常勤12名）、生活相談員兼介護支援専門員3名、管理者兼生活相談員1名、管理栄養士3名、訪問介護員3名（内非常勤1名）事務職員他7名（内非常勤2名）
- 2021年度職員異動状況
 - 採用：18名【介護職員16名（内正職員0名、契約13名、非常勤3名）、看護職員2名】
 - 退職：17名【介護職員17名（内正職員6名、契約10名、非常勤1名）
 - 転入： 2名【本部】
 - 転出： 0名

4. 研修参加・実施状況

- 内部研修参加回数：6回延216名参加
 - リスクマネジメント、感染対策、交通安全、事故防止、褥瘡ケア、虐待防止、接遇等
- 外部研修参加回数：きもべつ17回延23名参加、るすつ10回延10名参加
 - 認知症介護実践者研修、介護職員実務者研修、技能実習責任者講習 後志老協研修、溪仁会グループ及び本部主催研修等
- 今後も各委員会を中心に活動のレベルアップと積極的オンラインでの研修の受講

2021年度 事業報告

きもべつ喜らめきの郷

【入所：定員80名（短期入所込み）】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>29,200 人</u>	<u>27,880 人</u>
一日平均入所者数	<u>80.0 人</u>	<u>76.30 人</u>
入所待機者	<u>3 人</u> （3月末現在）	
要介護度状況	： 平均要介護度 <u>3.59</u>	
協力医療機関	： 1. <u>喜茂別町立クリニック</u>	
	2. <u>定山溪病院</u>	
	3. <u>洞爺温泉病院</u>	
	4. <u>喜茂別歯科</u>	
	5. <u>ふじ歯科クリニック</u>	

【訪問介護】

	目 標	実 績
延派遣回数（介護保険）	<u>490 回</u>	<u>86 回</u>
（総合事業）		<u>373 回</u>
（障がい）		<u>319 回</u>
（制度外）		<u>4 回</u>
一日平均利用回数（介護保険・総合事業）	<u>0.4 回</u>	<u>1.7 回</u>
要介護度状況	： 平均要介護度 <u>1.00</u> （要支援1・2を除く）	

2021年度 事業報告

るすつ銀河の杜

【入所：定員29名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>10,585 人</u>	<u>10,416 人</u>
一日平均入所者数	<u>29.0 人</u>	<u>28.50 人</u>
入所待機者	<u>0 人</u> (3月末現在)	
要介護度状況	： <u>平均要介護度 3.35</u>	
協力医療機関	： <u>1. 留寿都診療所</u>	
	<u>2. 定山溪病院</u>	
	<u>3. 洞爺温泉病院</u>	
	<u>4. 留寿都歯科診療所</u>	

【通所介護：地域密着型10名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>1,701 人</u>	<u>1,703 人</u>
一日平均利用者数	<u>7.00 人</u>	<u>7.01 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.65</u> (要支援1・2を除く)	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	<u>564 件</u>	<u>540 件</u>
(うち介護予防)		<u>24 件</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.44</u> (要支援1・2を除く)	

2021年度 事業報告

施設名：手稲つむぎの杜

1. 総括

○2021年度の総括

開設8年目を迎えた2021年度は、社会全体の閉塞感と変異を続けるコロナウイルスに緊張感を抱えながらも強い使命感を持ち、施設運営方針である『人財の在り方』『経営・業務の在り方』『事業の在り方』『施設の在るべき姿』を全職員が共有し、事業の着実な推進に取り組んだ。人財においては、職員間の接遇意識向上、日頃からの風通しの良い組織づくり、ワークライフバランス等を意識した取り組みを行い、有給休暇取得率の向上及び時間外勤務時間の減少を図ることができた。また、離職者においてもやむを得ない理由を除き前年度より減少が見られた。経営・業務においては、LIFE関連での加算算定を4月より開始し、単価上昇に努めた。しかし、前年度以上にコロナの影響を受け、特に通所事業において一時的な事業縮小等もありサービス提供の見直し等を行ったが、予算を大きく乖離する結果となった。また、入所においても下半期に短期間で退所が重なり苦戦を強いられた。その他、業務改善等の取り組みに関しても成果を見出すには至らなかった。事業の在り方、在るべき姿においても地域活動も地域の方々との関りも限定的となり、新しい生活様式を模索している段階において地域貢献活動等のイメージを共有するには困難であった。結果として今年度においては全事業の運営は大変厳しく、方針においても一部未達成であった。次年度においては、未達成項目を継続し手稲ブロックの中長期的な運営・経営を意識したなかで、引続き地域に根ざした公益的取組み・サービス提供を推進していくこととする。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況> 施設運営会議・つむぎプロジェクト会議・入所役職者会議（原則毎月第4金曜日）にて、課題の検証と対策を協議

○利用者の確保

入所：年間新規29名、退去26名（施設内看取り23名・入院退去3名）、稼働率98.6%、年間空床数416日。
上半期順調に推移したが、下半期に入り短期間で複数の看取り対応等退去者が急増と入退去が激しい年度となった。
短期：年間新規39名、稼働率69.8%、つむぎ通所介護、認知通所の併用利用者24%、居宅担当利用者41%。
引き続き、併用利用者も複数。新型コロナウイルス感染症による事業縮小等の対応及び長期間利用者の減少等の影響もあり予算未達。
通所：年間新規52名、稼働率49.7%。年度を通じて感染予防対策、環境整備、サービス提供体制の見直しを行い事業運営に努めたが、陽性者発生に伴う営業休止11日間をはじめ、緊急事態等による事業縮小、ご利用者の利用控え等も重なり非常に厳しい結果となった。
認知：年間新規4名、稼働率42.4%。上記通所同様の状況。事業の特性上レスパイト目的で複数回利用される方が多く、定期利用までに時間を要するため新規定期利用確保が難しく年度を通じて非常に厳しい結果となった。
小多機：年間新規21名、稼働率86.5%（登録定員24名）。通所同様苦戦は続いているが、下半期において介護職員が確保でき、当初目標の登録定員を29名へ変更。年度を通じて予算目標には到達できなかったが、他在宅事業と比較し安定的に結果を残すことができた。
居宅：年間新規14名。職員の上半期の離職、下半期での長期休暇による新規受入制限等も影響し、予算は未達であったが純利益では黒字。
つむぎ内の各在宅事業とのスムーズな連携により、各事業所の利用者確保にも大きく貢献した。
予防：引き続き、市内感染状況、緊急事態等通知に合わせSNSを活用したフレイル予防の体操、教室等従前行っていなかった活動を精力的に実施。活動自粛期間は他部署の応援、他者と接種しない手段でギャラリースペースへの展示等において施設運営に大きく貢献。
障害：年度を通じて相談支援専門員の入退職、病欠等落ち着かない体制が続いた。また、区内他相談事業所の廃止もあり相談対応件数が急増。
そのような状況、限られた人員においても委託・計画相談含め最大限の対応を行った。

○各種加算の算定

各事業前年度より算定の加算は継続し、4月より新たに創出された科学的介護に関連する加算「科学的介護推進体制加算(I)」においては入所、通所、認知通所、小多機で4月より算定を開始。「個別機能訓練加算(II)」においても入所、通所で算定開始し単価維持・上昇に努めた。

○水道光熱費及び費用の見直し

使用量においては、定期的な節約の周知等により前年より削減（前年度比ガス▲5.5%、電気▲2.0%、融雪電力▲4.5%、水道▲3.7%）が図られたが、夏以降の単価高騰により水道光熱費は前年度比+3,776千円。

○2022年度に向けて

管理栄養士の採用により、入所において「栄養強化マネジメント」通所において「栄養アセスメント加算」の算定をはじめ、「ADL維持等加算」を段階的に算定していく。また、その他未算定加算においても年度を通じて体制に応じ算定できないかを検討していく。

3. 職員状況（3月末現在）

○2021年3月31日現在 職員状況 全事業合計130名（内非常勤34名、派遣5名）

入所・短期：管理者1名、医師1名（非常勤）、看護職員6名（内非常勤1名）、介護職員53名（内非常勤9名、派遣5名）、
介護支援専門員2名、理学療法士1名、管理栄養士1名、歯科衛生士1名（非常勤）、生活相談員2名、事務職員5名 ・計72名
通所・認知：管理者2名（生活相談員兼務1名）、看護職員3名（内非常勤2名）、介護職員25名（内非常勤14名）、作業療法士1名、
運転職員2名（非常勤） ・計33名
小多機：管理者1名（介護支援専門員兼務）、看護職員1名、介護職員13名（内非常勤4名） ・計15名
居宅・予防：管理者2名、介護支援専門員3名、相談職員1名 ・計6名
障害：管理者1名、相談支援専門員3名 ・計4名

○2021年度職員採用・退職等状況（※派遣職員除く）

採用：12名【看護職員3名（入所1名、通所2名）、介護職員5名（入所4名、小多機1名）、相談職員2名（障がい2名）、事務職員他2名（入所1名、通所1名）】
退職：17名【看護職員3名（通所3名）、介護職員9名（入所2名、通所6名、小規模1名）、相談職員4名（入所1名、障がい2名、居宅1名）、事務職員1名（入所1名）】
異動：4名 転入2名【介護職員（入所）西円山敬樹園より1名、管理栄養士（入所）西円山敬樹園より1名】
転出2名【介護職員（入所）岩内ふれあいの郷へ2名】

4. 研修参加・実施状況

○外部研修参加状況（浜仁会グループ・社福キャリア支援課主催研修含む）※参加回数47回、延181名参加

主催：札幌市、道社協、札幌市医師会、道看護協会、北海道医療大学、モルテン、大塚製薬、パラマウントベッド
感染症予防研修（コロナ関係）、認知症介護実践者、ユニットリーダー研修、高齢者虐待防止研修、役職関係研修、スキルアップ研修 等

○内部研修実施状況 ※開催回数16回、延398名参加

感染対策研修、虐待防止研修、事故防止研修、褥瘡予防研修、看取りケア研修、接遇研修、身体拘束研修、事例検討会 他

2021年度 事業報告

手稲つむぎの杜

【入所：定員80名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>28,835 人</u>	<u>28,784 人</u>
一日平均入所者数	<u>79.0 人</u>	<u>78.9 人</u>
入所待機者	<u>54 人</u> (3月末現在)	
要介護度状況	: <u>平均要介護度 4.40</u>	
協力医療機関	: <u>1. 手稲溪仁会病院</u>	
	<u>2. 手稲家庭医療クリニック</u>	
	<u>3. 安永歯科</u>	

【短期入所生活介護：定員10名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>2,920 人</u>	<u>2,547 人</u>
一日平均入所者数	<u>8.0 人</u>	<u>7.0 人</u>
要介護度状況	: <u>平均要介護度 2.76</u> (要支援1・2を除く)	

【通所介護：一般型65名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>15,324 人</u>	<u>9,913 人</u>
一日平均利用者数	<u>49.6 人</u>	<u>33.2 人</u>
要介護度状況	: <u>平均要介護度 1.87</u> (要支援1・2を除く)	

※ご利用者のコロナ陽性者発生により5月12日より11日間営業休止

【通所介護：認知症対応型12名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>2,781 人</u>	<u>1,573 人</u>
一日平均利用者数	<u>9.0 人</u>	<u>5.1 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.31</u> (要支援1・2を除く)	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	<u>1,440 件</u>	<u>1,409 件</u>
(うち介護予防)		<u>0 件</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.94</u>	
訪問調査件数		<u>49 件</u>

【介護予防センター】(まえた)

延相談件数 68 件

相談内容(重複有)

介護保険制度：25 件 権利擁護：0 件 高齢者虐待：0 件
 介護予防：19 件 その他：47 件

介護予防啓発普及事業実施件数

	実施回数	参加者数
すこやか倶楽部	<u>83 回</u>	<u>861 人</u>
介護予防教室	<u>0 回</u>	<u>0 人</u>
転倒予防教室	<u>0 回</u>	<u>0 人</u>
認知症予防教室	<u>0 回</u>	<u>0 人</u>
研修会・講演会	<u>0 回</u>	<u>0 人</u>
その他	<u>18 回</u>	<u>204 人</u>

【小規模多機能型居宅介護：登録者定員24名（通い定員12名、宿泊4名）】

目 標

実 績

延登録者数 8, 5 7 6 人 7, 5 7 3 人

※延通い利用者数 3, 1 7 1 人

※延宿泊数 8 5 0 人

※延訪問数 3, 5 1 7 人

一日平均登録者数 2 3 . 5 人 2 0 . 7 人

要介護度状況 ： 平均要介護度 2 . 1 6（要支援1・2を除く）

【障がい者相談支援事業】

◇委託相談支援事業

新規登録者：83名 登録抹消者：84名 年度末登録者数：408名

■相談員1人につき82名 担当(職員5名)

(地区別) 北区：1名 東区：1名 中央区1名
西区：3名 手稲区：401名 市外 1名

(障がい種別) 身体：73名 重心：4名 知的：132名 精神：113名
発達：44名 高次脳：3名 若年性認知：1名 難病：5名
その他：33名

(児・者別) 障がい児：86名 障がい者：322名

支援方法 訪問：799件 来所：116件 同行：196件
ケア会議：69件 関係機関：2,505件 電話：2,000件
メール：394件 その他：481件

合計：6,560件

支援分類	福祉サービスの利用に関する支援	5,070件
	障がいや病状の理解に関する支援	8件
	健康・医療に関する支援	509件
	不安の解消・情緒安定に関する支援	226件
	保育・教育に関する支援	52件
	家族関係・人間関係に関する支援	186件
	家計、経済に関する支援	206件
	生活技術に関する支援	180件
	就労に関する支援	42件
	社会参加・余暇活動に関する支援	13件
	権利擁護に関する支援	68件

合計：6,560件

◇指定相談支援事業（サービス等利用計画）

契約者総人数 障がい者：49件 障がい児：16件

2021年度 事業報告

施設名： 菊水こまの郷

1. 総括

特養は、前半に関しては医療ニーズの高い新規入居者が多く、入退院が増加。結果入退居が多い状況となった。後半に関しては新規入居者の精査を行ない、減少。アベレージの安定に繋がった。退居者数については12名と例年よりも多い結果となった。100%稼働を目指す上で、退居者数・入院者数の減少が重要と考えている。(一日平均入居者数：2020年度28.2名、2021年度28.3名)

小規模多機能型居宅介護は、2020年度に比べ相談件数は増加したが感染状況による利用控えのため、年間アベレージとしてはふるわない状況となった。(年間アベレージ2020年度26.0名、2021年度27.9名)年間通しての課題であったご利用者の平均介護度については、アベレージ維持を優先するため低値にて推移した。コロナ禍における営業方法の見直し等、検討・実践している。

サテライト型小規模多機能ホームるびなすは、新規獲得に難航した一年であった。それに加え、開設当初よりのご利用者の介護度上昇に伴う入院、利用休止が複数見受けられた。本体施設同様に営業活動見直し、強化を行っている。(年間アベレージ2020年度17.5名、2021年度17.0名)

2022年度は、稼働率100%達成のため、全事業所の安定した待機者確保とともに、利用後の入院が少なくなるよう早期発見早期治療はもちろん、医療提供範囲の見直し等行っていきたい。

事故は、21件(誤薬事故10件、転倒事故10件、誤食事故1件)、苦情は、3件であった。誤薬については、飲み間違い事故も複数発生しており、マニュアルの不徹底が主な原因となっている。転倒事故については、小多機において骨折・入院に至った事案も発生している。特養においては新規入居後数ヶ月内の事故が目立っていた。転倒リスクの高い新規利用者が多かったことも一因である。今後、人財確保が難しい状況も合わさっていくことも考えられるため、ICT等活用しながら改善に努めていく。

施設外研修については、感染予防のため最低限必要な研修のみ参加している。施設内研修は必要研修については職員が集まらないようアンケートや動画視聴等を導入し開催。新年度の開催方法について、オンラインを含め継続していく。

人財確保については、採用者5名のうち、1名は紹介会社、2名は職員紹介制度での入職であった。求人誌等での入職は1名に留まり、人財確保での経費は年々増額している。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>：毎月第3月曜日(14:00~)開催

1)各事業所稼働率向上について2)職員募集・新人介護職員教育等について(離職防止も含め)3)感染症対策4)接遇5)その他

<成果>

1)特養についてはご利用者に対し病状の管理、ケアの質の向上を検討。小規模に関しては札幌市白石区第3地域包括支援センターから定期的な紹介等もあり稼働率向上をすすめている。

2)定期的にマニュアルを見直し、新人介護職員の勉強会等で使用。個人面談の回数を増やし業務内での不安や悩み等確認できた。

3)施設内感染症対策について、感染委員会と連携し感染予防の方針決定、啓蒙活動を実施。また、ミーティングや会議、研修について開催基準や開催方法の見直しを行なった。

4)接遇についてマニュアルの啓蒙や改善点の報告等行った。

5)事故ゼロに向け、事例検討やマニュアルの改訂に努めた。また、感染予防のためオンラインでの会議・MTの流れ等、取り組みを検討。

<今後の展開>

将来的に科学的介護について、ご利用者の自立促進のためケアの見直しを図り、介護度主体から加算主体の体制作りを検討していきたい。小規模多機能型居宅介護、るびなすについては連携を密に行い、安定経営を目指す。また、入居に関しては中重度要介護者・認知症高齢者の受入が基本となる。そのためにも専門性の向上と業務の効率化を図っていきたい。施設全体としては新規加算獲得に向け、日頃のケアから見直し、今後の展開を検討していきたい。

3. 職員状況(3月末現在)

○2022年3月31日職員状況

医師1名(非常勤)、看護職員4名、介護職員40名(内派遣2名)、生活相談員1名、管理栄養士1名、介護支援専門員3名、リハビリ1名(非常勤)、事務職員他4名(非常勤2名)、合計55名(非常勤4名、派遣2名、産休1名、休職1名)

○2021年度職員異動状況

採用8名【介護職員8名(常勤5名、非常勤1名、派遣2名)】

退職8名【介護職員7名(常勤3名、派遣4名)・看護職員1名(常勤)】

4. 研修参加・実施状況

○内部研修実施回数：15回

接遇、リスクマネジメント、認知症の理解、緊急時対応、感染対策、交通安全、事故防止、褥瘡ケア、虐待防止、看取りケア等

○外部研修実施回数：12回、延13名参加

メンタルヘルス、介護支援専門員専門研修、認知症介護基礎研修、UR研修、介護福祉士実習指導者講習、アサーティブスキル研修、他

○2022年度も各委員会を中心に活動のレベルアップと積極的な外部研修参加の機会を作っていく。

内部研修では感染状況が落ち着き次第、グループ等の協力を得て外部講師を多く依頼しての研修を実施していきたい。

2021年度 事業報告

菊水こまちの郷

【入所：定員29名】

	目 標	実 績
延入所者数	<u>10,585 人</u>	<u>10,316 人</u>
一日平均入所者数	<u>29.0 人</u>	<u>28.3 人</u>
入所待機者	<u>51 人</u> （3月末現在）	
要介護度状況	： <u>平均要介護度 4.24</u>	
協力医療機関	： <u>1. 広川内科クリニック</u> <u>2. 白石中央病院</u> <u>3. 札幌歯科口腔外科クリニック</u> <u>4.</u> <u>5.</u>	

【小規模多機能型居宅介護：登録者定員29名（通い定員18名、宿泊6名）】

	目 標	実 績
延登録者数	<u>10,585 人</u>	<u>10,170 人</u>
※延通い利用者数		<u>4,029 人</u>
※延宿泊数		<u>1,376 人</u>
※延訪問数		<u>6,271 人</u>
一日平均登録者数	<u>29.0 人</u>	<u>27.9 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.68</u>	

【小規模多機能ホーム るびなす：登録者定員18名（通い定員9名、宿泊3名）】

目標

実績

延登録者数

6, 570 人

6, 188 人

※延通い利用者数

1, 887 人

※延宿泊数

55 人

※延訪問数

2, 761 人

一日平均登録者数

18.0 人

17.0 人

要介護度状況：

平均要介護度 1.36

1. 3 6

2021年度 事業報告

施設名： カームヒル西円山

1. 総括

特定入居者生活介護登録者は、アベレージ45.3名（目標45名）、一日平均入所者数は99.1名（目標100名）、平均介護度は1.0にて目標は達することが出来た。平均単価が上がり、経常利益は予算を上回ることが出来た。職員の退職もなかった。

しかし、コロナ禍での影響もあり、一般・特定両方の心身の機能低下があり、今後、転倒骨折の増加も考えられ、入居率を維持するためには札幌西円山病院と連携強化し、短期間のリハビリ入院やリハビリ教室の実施、生活機能向上連携加算の取得に取組む。介護として閉じこもり予防、機能訓練などのプログラムを増やし、入居期間の延長を図っていききたい。

地域活動では、医療法人とのカーア助の会の活動を開始し、コロナ禍の中でできること、どんな形でも歩みを止めない、持続可能な活動を目指して行っている。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

1) 役職者会議 月1回開催

参加メンバー：施設長、経営管理課長、介護課長、相談主任、介護主任、介護副主任、看護副主任、経営管理主任
内容：一般・特定の在籍数や月ごとの経費執行状況について報告・協議。その後の職員会議でも実績報告を行う。

<成果>

経営状況を役職者で共有でき、一般から特定への変更や住み替えの相談など、経営状況を意識した入居者調整が出来ている。

<今後の展開>

経営を意識した運営を継続するため、介護報酬での収支を常に確認していく。入退院や住み替えを減らしていくため、閉じこもり・介護予防活動を強化していく。また、札幌西円山病院を含めた西円山ハーティケアの丘全体のソーシャルワーカーの会議を開催し、入退院支援や地域への広報を、相乗効果をもって行っていく。

3. 職員状況（3月末現在）

○2022年3月31日職員状況

看護職員：2名、介護職員：16名、相談職員：2名、栄養士1名、事務職員等：2名、合計：23名

○2021年度職員採用・退職等状況

退職⇒0名

採用⇒1名（介護職員）

異動⇒0名

4. 研修参加・実施状況

○参加：27回 参加者：延105名

外部研修：老人福祉施設協議会・全国軽費老人ホーム協議会・北海道社会福祉協議会等

内部研修：高齢者虐待防止研修、感染症対策研修、事故防止対策研修、施設内認知症勉強会等

2021年度 事業報告

カームヒル西円山

【入所：定員100名（特定施設含む）】

	目 標	実 績
延入所者数	36,600 人	36,184 人
（うち特定入居者）		16,524 人
一日平均入所者数	100 人	99.1 人
（うち特定入居者）		45.3 人

入所待機者（3月末現在）個人：100 人 夫婦：20 人 うち特定：46人
（要支援1・2を含む）

要介護度状況：平均要介護度 1.0 （要支援1・2を含む）

協力医療機関：1. 札幌西円山病院

2021年度 事業報告

施設名：コミュニティホーム白石・白石の郷

1. 総括

2021年度は、2022年度同様に多床室である老人保健施設にコロナウイルスを持ち込ませない感染対策を徹底的に行っていたが、何度か職員による陽性が判明しリスク分類し初期対応を行うなど経験したことにより、都度、感染対応を見直し何とか事業運営が行えている。コロナ禍において、通所事業を2事業抱える白石ブロックの経営への影響は引き続き大きく、大規模通所での事業継続は難しいと判断し、年度途中ではあったが、10月に通所介護を小規模多機能型居宅介護へ事業転換した。徐々にではあるが、地域活動の再開、レモンカフェの屋外開催など感染対策を十分行い、コロナと共存しながらの活動を再開させている。これからもコロナと共存しながらの事業の在り方、地域支援の在り方を職員と協議し事業運営を進めていく必要がある。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

開催日： 毎月1回、第3月曜日に定例開催。

参加者： 施設長、経営管理部長、施設ケア部長、リハビリテーション部長、経営管理部次長、支援相談課長、施設管理課長の7名。

内 容： 利用稼働率（老健入所、通所）の確認、超強化型算定への協議（在宅復帰率、ベッド回転率、他算定要件の確認）、新規加算の算定に向けた検討、BSCアクションプラン実施に向けた検討、その他運営上の課題について協議。

<成 果>

- 1 老人保健施設は、「超強化型」を維持することが出来た。
- 2 通所サービスの在り方を検討協議し小規模多機能型居宅介護への事業転換を行った
- 3 2021年度BSCにおけるアクションプランの実施をリードした。（スケジュール化、企画立案等）

<今後の展開>

経営改善プロジェクト会議は、これまで通り白石の運営方針策定やBSC運用に際して重要な位置付けとなります。ブロック全体の将来的な視野も入れ、各課題を共有、協議し運営会議に繋げ所属長合意のもと事業運営を行っていく。

3. 職員状況（3月末現在）

○2022年3月31日職員状況

医師2名、看護職員19名、介護職員80名、相談職員36名、介護支援専門員9名、療法士18名、管理栄養士1名、事務職員他39名、非常勤ヘルパー9名 合計213名 ※産休・育児休業4名、育児短時間勤務1名

○2021年度職員異動状況

採用：27名（看護職員 3名、介護職員13名、相談職員 0名、療法士 0名、事務職員他 11名）

退職：22名（看護職員 2名、介護職員16名、相談職員 0名、療法士 0名、事務職員他 4名）

転入： 3名

転出： 5名

4. 研修参加・実施状況

○溪仁会グループ本部主催研修会：延56名参加

○社会福祉法人本部主催研修会：延66名参加

○外部研修：延269名参加（ほとんどがWEB開催）

○内部研修（全体研修）：新入職員研修会2名参加

ケアの質向上委員会主催による「事例発表会」を参加者制限し2回開催し14題発表

それ以外の事業所においては視聴形式による発表方法にて実施し10演題発表

○その他、部署毎に研修計画を作成し部内研修会及び伝達講習会を参加人数制限し実施

2021年度 事業報告

コミュニティホーム白石

【入所：定員100名（短期療養含む）】

	目 標	実 績
延入所者数	35,405 人	34,551 人
一日平均入所者数	97.0 人	94.7 人
入所待機者	13 人（3月末現在）	
要介護度状況	： 平均要介護度 3.1 （短期療養除く）	
協力医療機関	： 1. 札幌西円山病院	
	2. 白石中央病院	
	3. 札幌ひばりが丘病院	
	4. 東札幌病院	

【通所リハビリテーション：定員55名】

	目 標	実 績
延利用者数	9,399 人	7,760 人
一日平均利用者数	38.7 人	33.9 人
要介護度状況	： 平均要介護度 1.7 （要支援1・2を除く）	

【短期入所生活介護：定員19名】

	目 標	実 績
延入所者数	6,006 人	5,689 人
一日平均入所者数	16.5 人	15.6 人
要介護度状況	： 平均要介護度 2.5 （要支援1・2を除く）	

【訪問介護】

	目 標	実 績
延派遣回数（介護保険）	3, 9 6 5 回	4, 4 6 0 回
（介護保険外）		1 1 5 人
一日平均利用回数（介護保険）	1 3 . 0 回	1 4 . 8 回
要介護度状況	： 平均要介護度 1 . 5 （要支援1・2を除く）	

【訪問リハビリテーション】

	目 標	実 績
延派遣回数（介護保険）	6, 2 9 9 回	5, 7 0 5 回
（介護保険外）		0 回
一日平均利用回数（介護保険）	2 5 . 8 回	2 3 . 4 回
要介護度状況	： 平均要介護度 2 . 3 （要支援1・2を除く）	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	2, 3 4 0 件	2, 3 7 0 件
（うち介護予防）		1 2 6 件
要介護度状況	： 平均要介護度 1 . 8 （要支援1・2を除く）	

【第1 地域包括支援センター】

延相談件数 927 件

相談内容（重複有）

介護保険制度：479 件 権利擁護：19 件 高齢者虐待：9 件

介護予防：8 件 その他の保健福祉サービス：18 件

認知症に関すること：102 件 消費者被害に関すること：1 件

住まいに関すること：52 件 心身の健康に関すること：17 件

家族の疾病・障がいに関すること：6 件 その他：118 件

会議開催、参加等

	主 催	参 加
個別地域ケア会議	<u>13</u> 回	<u>0</u> 回
個別地域ケア会議の準備会	<u>10</u> 回	<u>0</u> 回
地区地域ケア会議	<u>2</u> 回	<u>0</u> 回
地区連絡会議	<u>10</u> 回	<u>0</u> 回
区地域ケア推進会議	<u>4</u> 回	<u>0</u> 回
区連絡会議	<u>7</u> 回	<u>0</u> 回
その他のケース検討会議	<u>5</u> 回	<u>4</u> 回
運営推進会議等	<u>0</u> 回	<u>56</u> 回
地区組織との連携	<u>0</u> 回	<u>2</u> 回
医療機関との連携	<u>5</u> 回	<u>0</u> 回
生活支援コーディネーターとの連携	<u>0</u> 回	<u>1</u> 回
その他関係機関との連携	<u>10</u> 回	<u>4</u> 回

新予防給付の入手とプラン作成件数

	入手数	直営プラン	再委託
要支援	<u>976</u> 件	<u>568</u> 件	<u>311</u> 件

【第3 地域包括支援センター】

延相談件数 1 2 2 0 件

相談内容（重複有）

介護保険制度：8 3 8 件 介護予防：7 件 権利擁護：1 8 件

その他の保健福祉サービス：2 7 件 消費者被害に関すること：2 件

認知症に関すること：2 2 3 件 住まいに関すること：1 0 4 件

心身の健康に関すること：5 8 件 高齢者の虐待に関すること：1 5 件

家族の疾病・障がいに関すること：6 件 医療に関すること：3 1 件

処遇困難：3 6 件 その他：1 6 9 件

会議開催、参加等

	主 催	参 加
個別地域ケア会議	<u>1 2 回</u>	<u>0 回</u>
個別地域ケア会議の準備会	<u>2 回</u>	<u>0 回</u>
地区地域ケア会議	<u>2 回</u>	<u>0 回</u>
地区連絡会議	<u>1 回</u>	<u>0 回</u>
区地域ケア推進会議	<u>2 回</u>	<u>0 回</u>
区連絡会議	<u>3 回</u>	<u>0 回</u>
その他のケース検討会議	<u>8 回</u>	<u>0 回</u>
運営推進会議等	<u>0 回</u>	<u>2 0 回</u>
地区組織との連携	<u>6 回</u>	<u>1 5 回</u>
医療機関との連携	<u>3 回</u>	<u>0 回</u>
介護支援専門員連絡協議会		<u>7 回</u>
生活支援コーディネーターとの連携		<u>0 回</u>
その他関係機関との連携	<u>1 1 3 回</u>	<u>3 8 回</u>

予防給付の入手とプラン作成件数

	入手数	直営プラン	再委託
要支援	<u>9 4 9 件</u>	<u>7 6 4 件</u>	<u>3 0 4 件</u>

【介護予防センター（白石中央）】

延相談件数 38 件

相談内容（重複有）

介護保険制度： 18 件 権利擁護： 0 件 高齢者虐待： 0 件

介護予防： 14 件 その他： 23 件

介護予防啓発普及事業実施件数

	実施回数	参加者数
すこやか倶楽部	<u> 0 </u> 回	<u> 0 </u> 人
介護予防教室	<u>104 </u> 回	<u>1172 </u> 人
転倒予防教室	<u> 0 </u> 回	<u> 0 </u> 人
認知症予防教室	<u> 0 </u> 回	<u> 0 </u> 人
研修会・講演会	<u> 0 </u> 回	<u> 0 </u> 人
その他	<u> 15 </u> 回	<u>12,628 </u> 人

2021年度 事業報告

白石の郷

【グループホーム：定員18名】

	目 標	実 績
延入所者数	6,463 人	6,113 人
一日平均入所者数	17.7 人	16.7 人
入所待機者	11 人 (3月末現在)	
要介護度状況	平均要介護度 2.4	
協力医療機関	1. よつばクリニック	
	2. 札幌歯科口腔外科クリニック	
	3. 北郷皮膚科	

【通所介護：一般型45名】

	目 標	実 績
延利用者数	11,898 人	3,234 人
一日平均利用者数	38.5 人	20.6 人
要介護度状況	平均要介護度 1.8 (要支援1・2を除く)	

【小規模多機能型居宅介護：登録者定員29名（通い定員18名、宿泊6名）】

	目 標	実 績
延登録者数	<u>10,585 人</u>	<u>9,501 人</u>
※延通い利用者数		<u>4,023 人</u>
※延宿泊数		<u>1,700 人</u>
※延訪問数		<u>4,934 人</u>
一日平均登録者数	<u>29.0 人</u>	<u>26.0 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.97</u>	

2021年度 事業報告

施設名：コミュニティホーム八雲

1. 総括

- 老健入所（短期含む）については、計画的な入退所調整を行うことで例年よりもショートステイは少ないながらも、全体で高い稼働を得ることができた。これには入院退所を抑える健康管理、在宅復帰を実現するプランとリハビリ、日々の入退所業務、様々な部門相互の理解と協力的姿勢があったから成し得ていると思える。
- 通所リハビリについては、新型コロナ感染の落ち着きにより年末に掛け一時回復傾向が見られたが、冬期の落ち込みに加えオミクロン株の急拡大に影響され、これまでにない苦戦を強いられた。これらの現状を踏まえ密集や長時間滞在を回避したい利用ニーズを獲得すべく、年度末から短時間利用を戦略的にPRおよび拡充し、利用者数減少の補填に一定の成果と今後の可能性が得られた。
- 訪問介護については、需要があり目標を上回っているが、職員獲得が思うように進まずもどかしさを感じた。
- 訪問リハビリについては、需要は感じつつも、入所・通所に注力されてわずかな余力運営となっている。
- 居宅介護支援については、夏季に件数を伸ばすことができたが、大半の月で予算件数を下回り年間目標に達することが出来なかった。
- 施設医師不在で2021年度新年度を迎えたが、6月には新たな施設長が着任し新体制をスタートすることができた。指定される医師研修の受講により新規加算や上位加算の取得のほか、ニーズが多い看取りケアの実現や地域行政への保健協力など、在宅復帰機能のみならず老健として求められる幾つかの形を実現した年であった。
- 新たにLIFEがスタートとなり、フィードバックに関しては先送り状態であるが、早い段階で幅広い加算算定を実現している。今後は労力を考慮し取捨選択を考える必要も感じるが、1,000千円/月を超える収入に繋がるため引き続き注力する必要がある。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

- <活動状況>施設運営会議（毎月第4木曜日）において経営状況における課題等を協議
- 接遇に取り組み3年が経過したが、前年同値の8件（うち接遇関係7件）の苦情が上がった。しかしコロナ禍で面会が滞る中で客観的に接遇を見直す好機と捉えその都度改善に取り組んでいるため、次年度は件数の減少やその内容の変化に期待したい。
 - 新型コロナウイルスの感染対策により諸々の費用支出を強いられているが、施設医師によるワクチン接種が認可され利用者や職員へ実施することができた。それにより3回目までの接種費として約2,000千円の請求を行ない経営に資することができた。
 - 行事や面会等は地域の感染状況より随時検討し制限の強化と緩和を繰り返した。年明けよりオミクロン株がまん延し制限強化が続いていたが、緩和の目途が立たないことから玄関脇の夜間通用口を利用しガラス越し面会を開始した。
 - 厚労省管轄の介護ロボ機器の効果実証事業について協力要請あり。前年に導入した見守りセンサー（ネオスケア）を2台から9台に増台して4ヶ月程度の効果実証事業を受託した。終了後は4台を廉価で引き取ることができたので機器整備の拡充にも繋がった。
 - 労災対策および福利厚生として前年から取り入れた腰痛予防サポート具の購入支援が好評で、今年度はさらに16名の希望者があり購入支援した。
 - 歯科衛生士の採用によりこれまで着手しなかった口腔ケア強化に取り組めた。年度末で（転居により）退職となったが、在籍スタッフらにとっても有益な経験値となったことから、次の採用時には円滑に再開することを期待している。
 - 職員の発想力・企画力を活かす育成する目的で、アイデアコンペを行い2企画の選定と表彰を行った。企画は次年度初頭よりスタートするように準備が進められているが、アイデアを実現する面白みと大切さを経験させるべく次年度もコンペを継続したい。
- <今後の展開>
- 新年度早期のうちに歯科衛生士の採用目途が立ったことから、口腔ケアを再開し誤嚥性肺炎の減少に努めるとともに、口腔ケアに掛かる加算の算定を開始したい。
 - ノーマルケア（持ち上げないケア）プロジェクトの活動により、ルール作り/技術向上/機器導入を整備および推進して、人手不足やスタッフの高齢化に対応できるよう、より安心な就労環境を構築していきたい。
 - グループの研究発表をツールとして利用し、品質追求や向上心、また準備過程における部署間連携でチームワーク強化に繋げたい。
 - 介護システム更新に伴いツールと機能を早期に習得し、様々なICT活用により業務効率化・生産性向上を図る。
 - 新型コロナウイルスの状況変化を見据えながら、面会やイベントなどの再開を模索し実施していく。

3. 職員状況（3月末現在）

- 2022年3月31日職員状況
医師1名、看護14名（内非常勤2名）、介護（助手含む）59名（内非常勤18名）、療法士10名（内非常勤3名）、管理栄養士2名、CM6名、訪問介護員4名、相談4名、事務他13名（内非常勤9名）、《合計》113名（常勤80名、非常勤33名）
- 2021年度職員異動状況
採用：17名（医師1名、看護2名、介護7名、療法士3名、訪問介護員2名、歯科衛生士1名、運転手1名）
退職：10名（看護3名、介護5名、歯科衛生士1名、訪問介護員1名）

4. 研修参加・実施状況

- 内部研修：感染対策研修、身体拘束研修、転倒転落対策、褥瘡予防、BCP、感染シミュレーション等 合計11回 延565名参加
- 外部研修（法人内）：経営マネジメント、幹部セミナー、新人研修・フォローアップ研修、広報研修会等 合計21回 延58名参加
- 外部研修（法人外）：科学的介護、高齢者虐待防止、リスクマネジメント、老健管理医師研修、口腔ケア等 合計19回 延41名参加

2021年度 事業報告

コミュニティホーム八雲

【入所：定員90名（短期療養含む）】

	目 標	実 績
延入所者数	32,485 人	32,621 人
一日平均入所者数	89.0 人	89.4 人
入所待機者	4 人（3月末現在）	
要介護度状況	： 平均要介護度 3.0（短期療養除く）	
協力医療機関	： 1. 八雲総合病院	
	2. ヤクモ歯科クリニック	
	3.	

【通所リハビリテーション：定員55名】

	目 標	実 績
延利用者数	8,514 人	7,503 人
一日平均利用者数	33.0 人	29.1 人
要介護度状況	： 平均要介護度 1.9（要支援1・2を除く）	

【訪問リハビリテーション】

	目 標	実 績
延利用者数	608 人	254 人
一日平均利用者数	2.5 人	1.0 人
要介護度状況	： 平均要介護度 1.5（要支援1・2を除く）	

【訪問介護】

	目 標	実 績
延派遣回数（介護保険）	<u>2, 9 4 5 回</u>	<u>3, 0 2 4 回</u>
（介護保険外）		<u>4 2 回</u>
一日平均利用回数（介護保険）	<u>9. 5 回</u>	<u>9. 8 回</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1. 7</u> （要支援1・2を除く）	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	<u>1, 1 4 0 件</u>	<u>1, 1 0 5 件</u>
（うち介護予防）		<u>2 2 5 件</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1. 9</u> （要支援1・2を除く）	

2021年度 事業報告

施設名：コミュニティホーム美唄・すまいる

1. 総括

<入所・短期療養>

- ・コロナ禍にあったが、罹患する利用者も発生しなく事業運営することができた。
- ・短期療養については、1年間を通して目標値以上のアベレージを残すことができたが、入所においては、年間を通して入所者数・収益ともに目標値達成には至らず厳しい結果となった。
- ・入所者数の確保、新たな加算取得を行い、収益改善を目指していく。

<通所リハビリ>

- ・1年間を通して目標値に近い結果を残すことができず、非常に厳しい結果となった。
- ・利用者数を確保、取得可能な加算の取得を行い、収益改善、人件費率の減少を目指していきたい。

<訪問リハビリ>

- ・10月1日付で事業開設を行い、11月より訪問サービス提供開始となり、実績においては、事業開設目標値通りに推移し達成となった。
- ・今年度においても、目標の達成を目指すとともに、地域に根付いたサービス事業として目指していく。

<通所介護>

- ・利用者数、収益ともに、ほぼ予算目標通りのアベレージを残し、下半期については目標達成となりました。
- ・今後においても感染対策を十分に行いながら、新規利用者の獲得、加算取得を行い、目標アベレージの達成、収益の安定化を図っていく。

<居宅介護>

- ・目標値の達成までには至らなかったが、年間を通して予算対比98%となり、ほぼ目標数通りの数値を残し、人件費率も63～65%で推移することができた。
- ・今年度についても、昨年度同様、自施設、他事業所との連携を図り、利用者の獲得を図っていききたい。

<訪問介護>

- ・目標達成には届かなかったが、予算対比にて介護保険92%、介護保険外103%なり、目標値には近い数値を残すことができた。
- ・今年度においても、昨年度同様に1年を通して感染対策を十分に行いながらサービスの提供を行い、新規利用者の獲得、収益向上を目指していく。

<今後の展開>

- ・今年度においてもブロック全体として、昨年同様に感染対策を十分に講じ、リスクを回避しながらサービスを提供していき、新規利用者の獲得等をおこない、収益改善・向上を目指していく。また、サービスを提供していくうえで重要となる接遇面強化の取組、職員の健康管理にも留意していく。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

- 運営会議（毎月1回）：ブロック全体の経営改善にむけての検討をおこなった。
- ・新年度当初に各部署・各事業所において目標を設定し、進捗状況を確認しながら、毎月の施設運営会議において実施状況の成果を報告、確認し、解決が必要な課題について検討を行い、経営改善の早期解決に努めた。

<成果>

- ・各部署・各事業所間で情報共有を行うことにより、経営改善に必要な課題が明確になった。
- ・情報共有をおこなうことにより、お客様や各事業所担当者にたいしての早期対応、また業務の効率化をはかっていくことができた。

<今後の展開>

- ・今後も引き続き感染対策を十分に行いながら、入所・在宅事業の連携をはかり、利用者様の生活を支えられるよう、サービスの提供を継続実施するとともに、新規利用者の獲得、費用の節減等を十分に意識しながら、目標としている収益が確保できるよう努めていく。

3. 職員状況（3月末現在）

2022年3月31日職員状況

（コミュニティホーム美唄）

- ・医師1名、看護職員15名（内非常勤4名、准看護師含む）、介護職員50名（内非常勤14名）、栄養士1名
- ・相談員3名、事務・施設管理職員10名、リハビリ職員9名（理学療法士6名、作業療法士3名）、清掃職員5名（非常勤）
- ・運転職員7名（非常勤）
- ・合計101名（内非常勤30名）

（すまいる）

- ・介護支援専門員5名、訪問介護員27名（内非常勤22名）、看護職員1名、介護職員6名（内非常勤1名）
- ・事務職員8名（内非常勤4名）、作業療法士1名
- ・合計48名（内非常勤27名）

2021年度職員採用・退職等状況

（コミュニティホーム美唄）

- ・採用：10名（医師2名、介護職員3名（内異動2名）、理学療法士2名（内異動1名）、事務職員1名（異動）
施設管理1名、運転手1名）

- ・退職：8名（医師2名、介護職員2名、看護職員1名 理学療法士2名（異動）、施設管理1名）

（すまいる）

- ・採用：8名（介護職員4名）
- ・退職：8名（介護職員5名、訪問介護員1名）

4. 研修参加・実施状況

＜美唄ブロック全体＞

- ・外部研修参加回数：28回
- ・内部研修参加回数：30回

（コミュニティホーム美唄）

○外部研修参加回数：23回

- ・新人職員研修、役職者昇格時研修、「動き出しは本人から」～関わることの原点が気づきと関係をもたらし、
- ・新人フォローアップ研修、介護福祉士実習指導講習会、生活設計セミナー（セカンドライフ応援セミナー）、
- ・介護福祉士実務者研修、リハ・栄養合同研修会、安全衛生管理者研修Ⅰ、リスクマネジメント研修会、ハラスメント研修会、
- ・中間管理職講座、認知症介護基礎研修、アンコンシャスバイアス研修、
- ・アイヌ文化からSDGs（持続可能な社会づくり）を学ぶ、感染予防対策研修会、介護福祉士受験対策講座、
- ・安全衛生管理者研修Ⅱ、接遇実践報告研修、安全運転管理者講習会、幹部職員セミナー、認知介護実践研修、
- ・第24回産業保健研修会

○内部研修参加回数：16回

- ・不適切ケア研修（宿題方式）、KYT（危険予知）、記録について（プチ学習会）、レビー小体型認知症についての学び、
- ・職場でのストレス発想の転換（プチ学習会）、防災について（プチ学習会）、接遇について、虐待研修、感染対策研修、
- ・AED・救命救急講習、オムツの当て方学習会、標準予防対策（スタンダードプリコーション）手指衛生勉強会、
- ・アンコンシャスバイアスについて（プチ学習会）、身体拘束禁止、高齢者虐待禁止について（プチ学習会）、
- ・事故防止学習会（令和3年度事故分析）

（すまいる）

○外部研修参加回数：5回

- ・地域包括ケアシステム

（地域で共に生き、地方を元気に～安心して暮らせる医療、福祉制度と見守り支援などを知るために～）

- ・包括支援センター学習会（成年後見人制度）、地域包括ケア講習会、他職種連携パーキンソン病WEB講習会 in 空知、
- ・共同事例検討会

○内部研修参加回数：14回

- ・接遇について（接遇は利用者目線で考える）、アンガーマネジメントについて、認知症について、猛暑を乗り切る、
- ・高齢者・障害者の虐待について、人と認知症を向き合うために、在宅酸素療法について、
- ・身体介護技術（仰臥位のままシーツ交換・麻痺のある方の更衣介助）、うつ病について（老人性うつ病と認知症の違い）、
- ・利用者アンケートについて、健康と天気、かくれ脱水について、ヒヤリハット事例検討、湊仁会リハ部門研修会、
- ・社福リハ栄養行動研修会

○テレビ会議システムを使用して研修参加を行い、知識・情報共有に努めた。

2021年度 事業報告

コミュニティホーム美唄

【入所：定員80名（短期療養含む）】

	目 標	実 績
延入所者数	28,470 人	26,791 人
一日平均入所者数	78.0 人	73.0 人
入所待機者	2人（3月末現在）	
要介護度状況	： 平均要介護度 2.6 （短期療養除く）	
協力医療機関	： 1. 市立美唄病院 2. 宝崎歯科分院	

【通所リハビリテーション：定員65名】

	目 標	実 績
延利用者数	12,150 人	10,913 人
一日平均利用者数	50.0 人	46.0 人
要介護度状況	： 平均要介護度 2.0 （要支援1・2を除く）	

【訪問リハビリテーション】

	目 標	実 績
延利用者数	18 人	18 人
一日平均利用者数	3.0 人	3.0 人
要介護度状況	： 平均要介護度 5.0 （要支援1・2を除く）	

2021年度 事業報告

美唄市東地区生活支援センターすまいる

【通所介護：一般型30名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>5,676 人</u>	<u>5,423 人</u>
一日平均利用者数	<u>22 人</u>	<u>21 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.1</u> (総合事業を除く)	

【訪問介護】

	目 標	実 績
延派遣回数 (介護保険)	<u>15,799 人</u>	<u>14,080 人</u>
(介護保険外)		<u>4,298 人</u>
一日平均利用回数 (介護保険)	<u>51.0 人</u>	<u>45.6 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.8</u> (総合事業を除く)	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	<u>2,388 件</u>	<u>2,291 件</u>
(うち介護予防)		<u>366 件</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 2.0</u> (総合事業を除く)	

【福祉入浴】（自主事業）

延利用者数 1, 0 1 9 人

一日平均利用者数 7. 8人

【高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業（L S A）】（受託事業）

対応件数 4, 5 4 9 件

（安否確認： 4, 0 2 6 件 相談連絡： 4 3 5件 健康異変： 2 6件

ガス漏れ警報器： 8件 非常呼出： 5 3件 その他： 1件 ）

2021年度 事業報告

施設名：コミュニティホーム岩内

1. 総括

2020年に引き続き、コロナ禍で利用者・家族に大変ご迷惑ご不便をお掛けした1年であった。2021年も稼働率100%を目標に掲げてきたが、感染拡大の影響は大きく、老健入所は、1日平均入所者数95.4名で、目標を達成できず、通所リハも目標を達成できなかった。その中でもコミュニティホーム岩内と岩内ふれ愛の郷の2つの施設が連帯感を持って一体経営することができた。今後、改めて新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症蔓延防止対策が課題といえる。

1. 老健入所は、通年「加算型」を取得することができた。今後は、加算型から在宅強化型そして超強化型へステップアップできるシステム（人員も含め）を構築することが重要になってくるため、プロジェクト会議等で検討していきたい。
2. リハビリ関連の加算については、老健入所は、短期集中リハ加算・認知症短期集中リハ加算、通所リハは、通所リハマネ加算（Ⅱ・Ⅲ）を積極的に取得することができ、今後も計画的に効率よくリハビリ実施し、加算を算定していきたい。
3. 訪問看護は、介護保険・医療保険ともに目標を達成することができなかったが、訪問リハビリの要望が多くあるためセラピストの配置等も含め新規事業を視野に入れ調整を図ってきたい。
4. 居宅介護支援事業所、地域包括支援センターは、延利用者数目標をほぼ達成することができた。また、地域包括支援センター主催の介護予防事業「はつらつ元気塾」と「ばびっと健康クラブ」の地域活動に関しては、コロナ禍の影響を受け岩内町と協議し、急速中止とした回もあった。
5. 事業所内保育所の利用者は、2020年度に比べ少し増加し、月平均の利用登録者は14.2人となった。子育て中の女性職員中心に働きやすい環境が提供できている。
6. 老健入所は、特定疾患療養費加算やターミナル加算も算定することができた。
喫緊の課題は人材確保と人材育成である。介護職員は当然であるが、看護師やリハビリ職等の専門職の確保が依然厳しい状況である。安定した職員の確保と年代別の職員育成、そして、働きやすい職場環境作りを推進していきたい。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

1. 岩内ふれ愛の郷と合同で実施している「岩内コミュニティの丘運営会議」「プロジェクト会議」を月1回開催し、検討課題等を情報共有することで透明性の保持や可視化することができている。
2. 「プロジェクト会議」では新型コロナウイルス感染防止等についても十分に検討し対応した。

<成果>

- ・ 「プロジェクト会議」で在宅復帰阻害要因等の検証を行い、老健入所は、通年「加算型」を算定することができた。
- ・ ふれ愛の短期入所生活介護を利用者が定期的にコミ岩の入所する事ができた。
- ・ 一体経営に向けたふれ愛・コミ岩の職員合同研修は、2020年度よりもコロナ禍で回数は減ったが開催することができた。
- ・ 加算算定状況や人件費率及び利益率に向けた目標数値の達成度確認等、全職員に周知が図れた。

<今後の課題>

- ・ 長期にわたり人材不足が続いていることは喫緊に課題である。効果的な応募・離職防止対策等を推進していきたい。
- ・ 科学的介護情報システム「LIFE」対応のため業務改善を進めていく。
- ・ コロナ禍であり改めて、感染症含め、自然災害・介護事故におけるリスク管理の強化を図っていく。

3. 職員状況（3月末現在）

○2022年3月31日職員状況 <入所・DC・包括・居宅・訪問看護>

医師1名、理学療法士8名、作業療法士2名、管理栄養士2名、栄養士1名、看護職員24名（内非常勤・嘱託・派遣12名）
相談職員5名（内非常勤1名）、介護職員75名（内非常勤24名）、介護支援専門員4名（内非常勤2名）
事務職員8名（内非常勤3名）、施設管理職員1名、運転職員7名（内非常勤7名）、リハアシスタント1名、合 計：139名

○2021年度職員採用・退職等状況（施設外転出者含む）

採用：21名【介護15名、看護 5名、包括 1名】

退職：18名【介護14名、看護 3名、運転 1名】

異動：12名【介護10名、看護 2名】

育児休業：2名、産前産後休業：2名、病欠：2名

4. 研修参加・実施状況

○外部研修参加状況（溪仁会グループ・キャリア支援主催研修含）参加者延77名

中堅管理者研修、接遇研修、終末期リハ研修、認知症初期集中支援研修、施設看護師専門研修、介護福祉士実務者研修、その他

○施設内研修開催回数12回

緊急時対応研修、ケアプラン研修、身体拘束廃止研修、事故防止研修、感染対策研修、事故対策研修、その他

○岩内コミュニティの丘合同研修開催回数11回

介護現場におけるリスクマネジメント研修、オムツのあて方研修、その他

2021年度 事業報告

コミュニティホーム岩内

【入所：定員100名】

	目 標	実 績
延入所者数	36,500 人	34,835 人
一日平均入所者数	100.0 人	95.4 人
入所待機者	3 人 (3月末現在)	
要介護度状況	： 平均要介護度 2.70	
協力医療機関	： 1. 岩内協会病院	
	2. 済生会小樽病院	
	3. 中村歯科医院	

【通所リハビリテーション：定員50名】

	目 標	実 績
延利用者数	10,604 人	8,630 人
一日平均利用者数	44.0 人	35.8 人
要介護度状況	： 平均要介護度 1.25 (要支援1・2を含む)	

【訪問リハビリテーション】

	目 標	実 績
延利用者数	63 人	63 人
一日平均利用者数	0.5 人	0.5 人
要介護度状況	： 平均要介護度 1.7 (要支援1・2を除く)	

【地域包括支援センター】

延相談件数： 191 件

相談内容

介護サービスの利用： <u>116 件</u>	代行申請： <u>17 件</u>
認知症： <u>18 件</u>	生活支援： <u>4 件</u>
権利擁護： <u>1 件</u>	高齢者虐待： <u>2 件</u>
介護予防・リハビリ： <u>1 件</u>	患者情報の紹介： <u>3 件</u>
入所を含む施設関連の相談： <u>4 件</u>	その他： <u>25 件</u>

会議・事業の開催、参加等

	主 催	参 加
役場・包括連絡会議	<u>0 回</u>	<u>8 回</u>
センター会議	<u>12 回</u>	<u>12 回</u>
地域ケア会議（個別処遇会議）	<u>0 回</u>	<u>3 回</u>
自立支援型地域ケア会議（擬似会議）	<u>3 回</u>	<u>3 回</u>
虐待対応ケース会議	<u>0 回</u>	<u>2 回</u>
認知症初期集中支援チーム員検討会議	<u>0 回</u>	<u>3 回</u>
居宅・包括連絡会議	<u>3 回</u>	<u>3 回</u>
民生福祉委員協議会	<u>0 回</u>	<u>2 回</u>
はつらつ元気塾	<u>19 回</u>	<u>15 回</u>
介護予防教室	<u>5 回</u>	<u>5 回</u>
介護予防普及活動	<u>0 回</u>	<u>2 回</u>

新予防給付の入手とプラン作成件数

	入手数	直営プラン	委託プラン
要支援（予防給付）	<u>39 件</u>	<u>1121 件</u>	<u>0 件</u>
予防ケアマネジメント（総合事業）	入手数	直営プラン	委託プラン
	<u>45 件</u>	<u>707 件</u>	<u>14 件</u>

【訪問看護】

	目 標	実 績
延派遣回数	<u>5,002 回</u>	<u>4,809 回</u>
（うち介護保険外）	<u>854 回</u>	<u>850 回</u>
一日平均利用者数	<u>20.5 人</u>	<u>14.8 人</u>

要介護度状況 ： 平均要介護度 1.75（要支援1・2を含む）

【居宅介護支援】

目 標

実 績

延作成件数

4 0 8 件

3 8 7 件

(うち介護予防)

1 2 件

要介護度状況 : 平均要介護度 1. 7 (要支援 1・2を除く)

2021年度 事業報告

施設名：青葉ハーティケアセンター

1. 総括

<通所介護>

昨年同様コロナ禍の運営が続き、2021年5月には法人内クラスター対応のため事業を大幅に縮小し、2022年3月には職員、利用者それぞれに陽性者が発生し、4日間の営業休止の対応をとった。

新規利用者については、コンスタントに獲得でき体験利用者の紹介も途切れる事はなかったが、市中感染の拡大に合わせる形で利用控えが断続的に発生し全体の数字の落ち込みに繋がった。

2021年度に行われた制度改正・報酬改定については、LIFEをはじめ、幅広い加算算定ができた。未算定だった入浴介助加算Ⅱ（55単位）については、2022年5月から算定予定

<居宅介護支援>

年度途中に予定外の退職があり、下期は特定事業所加算ⅡからⅢに算定を落としたことによる単価減少など経営的な影響が避けられなかった。カイボケ導入継続によりタブレット端末を活用した在宅ワークもスムーズに取り入れて業務遂行に関しては大きな支障もなく臨むことができた。新規利用者の相談数は昨年度に比較して少なく、コロナ禍によると思われるサービスの利用控えや病院施設からの退院退所の動きも鈍い。感染対策を講じ、青葉事業所との連携を図りながら、新規利用者の獲得、安定化をはかり収益改善、向上を目指していく。

<訪問看護>

コロナ禍、更には、利用者の感染、職員の出勤制限などで職員のマンパワーが少ない中、訪問の優先度の工夫やタイムリーな電話での営業で、さほど実績を落とさず運営できた。連携医療機関52か所、連携居宅支援事業所29か所。いずれも初めて連携する医療機関や居宅からの依頼もあり連携先は増えている。更に「医療度の高い利用者や小児も見れる訪問看護ステーション」という特徴は多くの医療機関や事業所に周知されている事を確信できた。コロナの影響もあり1か月平均の新規依頼は、看護4.3名、リハビリ1.8名。特にリハビリは終了者が少ないため、徐々に利用者は増えており、実績はそれを反映している。2021年度も厳しい状況の中、収益と黒字の安定化をなんとか実現できた。また、青葉ハーティケアセンター内で共通で利用者を持つ事も多く、今後も施設全体での利用者の確保と運営活性化への原動力としての役割を担い、他の連携機関との太いパイプ作りを進め、地域に根差した訪問看護ステーションとして、更なる利用者の獲得と黒字安定を目指していく。

<小規模多機能>

年間を通してほぼ目標に近い28.3名を保つことが出来た為、大幅なプラス収支で運営する事が出来た。2022年度は利用者の要介護度の見直しや泊り利用を維持して、更なる安定した運営を目指す。

<児童デイサービス>

予定人員の採用を実施したものの、短期間での退職となり予算した目標には未達。10月から人員体制の見直しをはかったことで延べ利用者数が月平均200を超えることもあり一定の目標は達成。今後は利用者数の確保に向け日々の利用管理、キャンセル待ちの調整など密に行う。

(今後の展開)

2022年度においては、各事業所ともに新型コロナウイルス感染症への対策を講じ、新規利用者の獲得、経営状況にあった体制の検討を行いながら、収益改善・向上はもちろん、サービスの質向上、職場環境の改善を目的にコロナ禍における研修体系の再構築、健康経営を意識した衛生管理体制強化に取り組む。また、ご利用者・家族への接遇はもちろん、来客者や職員同士の接遇強化にも取り組む。更新を迎える介護保険ソフトについても積極的な活用を実施し、生産性の向上やペーパーレス等による経費削減にも取り組む。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

○運営会議（毎月1回）：5事業所全体の経営改善にむけての検討

参加者：センター長、各管理者（居宅、通所、小規模、訪問看護、経理）

○各部署会議（居宅、通所、小規模、訪問看護）（毎月1回）：各事業所内での経営改善にむけての検討

○通所主務者会議（毎月1回）：業務の効率化、経営改善にむけての検討

参加者：管理者、役職者、リーダー、看護師

○居宅会議（毎週1回）：業務の効率化、情報共有、サービスの質向上を目的として実施

参加者：介護支援専門員全職員

○地域への参画（健康ステーションでの予防体操の実施） ※コロナ禍で年度途中から見合わせ

○地域ケア会議への参加：施設内空間スペースの活用の検討 ※コロナ禍でスペース活用については見合わせ

○ふくまち講座へのリハスタッフ派遣 ※1月のまん延防止等重点措置の開始を受けて開催中止

<成果>

○各事業所間で連携をはかり、利用者数の獲得につなげることができた。(小規模多機能へ居宅から紹介など)

○各事業所間での情報共有をおこなうことにより、経営上必要な課題点が明確になってきた。

○情報共有をおこなうことにより、お客様や各事業所担当者に対しての早期対応、また業務の効率化をはかっていくことができた。(新型コロナ感染症については事業所内での感染拡大は防ぐことができた)

○コロナの影響で地域活動は参加出来なかったが、地域の医療福祉に関する関係者への営業で、認知度は上がり、新規依頼は増えた。医療度の高い利用者、小児に対応できる訪問看護ステーションと言う地位は確立した。

<今後の展開>

○新規利用者の獲得、既存利用者の確保、コスト意識をしていきながら、極力少ない費用と人員で収益を確保できるように努めていく。

3. 職員状況(3月末現在)

○2022年3月31日職員状況

- ・生活相談員: 2名(内管理者兼務 1名)
- ・介護支援専門員: 5名
- ・看護職員: 11名(内非常勤職員 4名)
- ・理学療法士: 4名(内非常勤職員 1名)
- ・作業療法士: 3名
- ・言語聴覚士: 1名
- ・介護職員: 19名(内非常勤職員 7名、休職者1名)
- ・事務職員: 2名
- ・運転職員: 4名(内非常勤職員 3名)
- ・合計: 51名(内非常勤職員16名、休職者1名)

○2021年度入職・退職者状況(出向者含む)

- ・採用: 7名、介護職員1名、看護職員2名、理学療法士2名、作業療法士1名、保育士1名
- ・退職: 6名、看護職員1名、介護職員1名、介護支援専門員1名、理学療法士1名、保育士1名、通所介護課長1名

4. 研修参加・実施状況

○外部研修69回 延参加者数88名

各区ケアマネ連絡協議会研修、コロナ禍でも行動出来て頼れるケアマネを目指して学ぶ感染症対策、クラスター対応研修、臨床輸血セミナー、一緒に学ぼう在宅看取りの第1歩、臨床指導者研修、新型コロナウイルス対応多職種研修会、厚別区地域包括ケアシンポジウム、HIV感染症の基礎知識、札幌医療ケア児等支援者養成研修会、パーキンソン病進行期の治療、ツムラ漢方セミナー、在宅介護と衛生対策、誤嚥予防の実演&講義、日本理学療法学会大会2020 in おおいた(eラーニング) 症例に基づく徒手理学療法、軟部組織モビライゼーション間接モビライゼーション、技術編Transfer、臨床実習指導者研修、新たな働き場所での取り組みから学ぶ理学療法士の働き方セミナー、日本福祉大学医療福祉マネジメント学科の講義、3学会合同呼吸療法認定士講習会(eラーニング)、全国老施協トップセミナー、ハラスメント研修会感覚統合療法認定講習会A(基礎・評価)、リタリコオンライン・保護者との関係構築セミナー、個別支援計画作成セミナー、個別支援計画セミナー、個別支援計画事業者研修会、障がい者(児)施設・事業者を対象とした巡回歯科保健指導事業研修、自閉スペクトラム症/自閉スペクトラム障害支援者専門研修会、児童発達支援管理責任者基礎研修、区包括支援センター研修、厚別区ケアシンポジウム、ケアマネ資質向上研修、札幌市自立支援協議会研修、北海道在宅医療推進センター医療従事者向け研修、高齢者虐待防止推進研修など

○内部研修26回 延参加者数68名

医師看護師向けCOVID19自宅療養者の対応、リハビリ栄養合同研修会「栄養とリハビリテーション」、ADL評価について、介護報酬改定について、安全衛生管理研修I、溪仁会グループ研究発表大会、接遇研修、虐待防止研修、札幌市集団指導伝達研修、コロナ感染対策研修、災害時対策研修など

2021年度 事業報告

青葉ハーティケアセンター

【通所介護：一般型40名】

	目 標	実 績
延利用者数（一般型）	<u>8,956 人</u>	<u>6,299 人</u>
一日平均利用者数（一般型）	<u>29.0 人</u>	<u>20.4 人</u>
要介護度状況 一般型	：平均要介護度 <u>1.82</u> （要支援1・2を除く）	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数 （うち介護予防）	<u>1,716 件</u>	<u>1,447 件</u> <u>228 件</u>
要介護度状況	： <u>1.92</u> （要支援1・2を除く）	

【訪問看護】

	目 標	実 績
延派遣回数 （うち介護保険外）	<u>7,349 回</u> <u>3,046 回</u>	<u>6,231 回</u> <u>1,948 回</u>
一日平均利用者数	<u>30.3 人</u>	<u>25.7 人</u>
要介護度状況	： 平均要介護度 <u>2.26</u> （要支援1・2を除く）	

【小規模多機能型居宅介護：登録者定員29名（通い定員18名、宿泊6名）】

	目 標	実 績
延登録者数	<u>10,403 人</u>	<u>10,337 人</u>
※延通い利用者数		<u>3,932 人</u>
※延宿泊数		<u>1,729 人</u>
※延訪問数		<u>5,195 人</u>
一日平均登録者数	<u>28.5 人</u>	<u>28.3 人</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.72</u> （要支援1・2を除く）	

【児童デイサービス：通所10名、居宅保育所等訪問0.8名】

	目 標	実 績
延利用者数	<u>2,399 人</u>	<u>2,166 人</u>
※延べ通所利用者数	<u>2,186 人</u>	<u>2,154 人</u>
※延べ訪問利用者数	<u>213 人</u>	<u>12 人</u>

2021年度 事業報告

施設名：円山ハーティケアセンター

1. 総括

<通所介護>

2021年度もコロナ禍の影響を強く受けた1年となった。5月、6月の縮小営業により、他デイサービスに移行した方、自宅で自粛され身心機能の低下が進み入院や入所に至った方等、登録者数の大幅な減少に繋がった。もともと中央区は市内の感染状況に敏感に反応する方が多く、高齢者住宅の外出制限も散見され、12月の感染拡大期には40～50名の方が利用控えでお休みされた。

3月以降は、1日の感染者数も高止まりで経過していたが、断続的に利用者や職員・家族の中から罹患者が発生した。

<居宅介護支援>

2021年度は、常勤職員3名、非常勤職員2名の5名体制でスタートし、8月には異動で常勤職員1名が増員となり、10月には新規で職員1名が採用となったが、10月には管理者の異動と交代、11月には非常勤職員の退職、12月には入職したばかりの職員の退職があり、担当者の変更が続いたことでご利用者にご負担を掛ける形となった。ただ、12月以降は包括や近隣医療機関への地道な挨拶回りや新規の相談に丁寧に対応したことが功を奏し相談件数も増加し、毎月2名以上の新規獲得を継続できた。

<今後の展開>

通所介護については、まずは新型コロナウィルスの感染対策をしっかりと行い、罹患者が発生してもクラスターにならないサービス提供を徹底していく。今年度は広報活動に注力し、セラピストを2名配置し幅広いリハビリのニーズに対応できるデイサービスである事を発信し、一般の方やケアマネの方に施設の存在を広く知って頂く。

居宅介護支援については、新規利用者を安定して確保するために近隣の医療機関や同グループの医療機関、各区包括との連携を強化していく。担当件数も増えているが、できる限りお断りすることなく受入れ、丁寧な対応に努めていく。

2. 経営改善プロジェクト活動状況

<活動状況>

○円山HCC運営会議：毎月1回：経営課題の検討、事業方針や方向性の検討。

参加者：円山HCCセンター長、各事業役職者

○デイサービス運営会議：毎月1回：感染対策、業務の効率化、経営改善にむけて検討

参加者：管理者、役職者、看護職員

○居宅介護支援事業所会議：毎週1回：業務の効率化、情報共有、サービスの質向上を目的として実施。

参加者：介護支援専門員全職員

<成果>

○新型コロナウィルスの感染対策として看護職員とも連携し業務上でのリスクの洗い出し、対策の強化を図ることができた。

○情報共有をおこなうことにより、ご利用者様や各事業所担当者にたいしての早期対応、また、業務の効率化を図っていくことができた。

<次年度にむけて>

○新型コロナウィルスへの対応。徹底した感染対策の強化。罹患者が発生した際の適切な対応。

○介護ソフトの入替、タブレットの導入によるICT化に積極的に取り組み、業務体制の見直しと効率化、定着化を図る。

○100%稼働率達成に向けた検討。ハラスメントの根絶や労働環境の整備について検討。施設の健康課題について検討。

3. 職員状況（3月末現在）

○2022年3月31日職員状況

・管 理 者： 2名（通所介護、居宅介護支援）	・生 活 相 談 員： 2名（通所介護）
・介護支援専門員： 2名（居宅介護支援）	・看 護 職 員： 4名（非常勤2名）
・言 語 聴 覚 士： 1名	・作 業 療 法 士： 1名（非常勤）
・介 護 職 員： 20名（非常勤8名）	・事 務 職 員： 1名
・運 転 職 員： 4名（非常勤）	・清 掃 職 員： 1名（非常勤）
・合 計： 38名（非常勤16名）	

○2021年度 採用・退職者状況（出向者含む）

採用：3名（介護職員1名、看護職員1名、介護支援専門員1名）

退職：6名（介護職員3名、看護職員1名、介護支援専門員2名）

転出：2名（介護支援専門員1名【CH白石】、運転職員1名【青葉】） 転入：1名（介護支援専門員1名【月寒】）

4. 研修参加・実施状況

○外部研修：口腔ケア研修、雇用管理者研修、人財定着オンライン研修、ケア連事例研修、アンガーマネジメント研修、若年性認知症研修、BCPセミナー、ICT導入・普及促進セミナー、他多数

○内部研修：（居宅）コンプライアンス研修、（通所介護）送迎車リフト操作について、利用者アセスメント（訪問業務について）等

2021年度 事業報告

円山ハーティケアセンター

【通所介護：一般型80名】

	目 標	実 績
延利用者数（一般型）	<u>17,531 人</u>	<u>13,377 人</u>
一日平均利用者数（一般型）	<u>56.7 人</u>	<u>43.8 人</u>
要介護度状況 一般型	： <u>平均要介護度 1.93</u> （要支援1・2を除く）	

【居宅介護支援】

	目 標	実 績
延作成件数	<u>1,351 件</u>	<u>1,197 件</u>
（うち介護予防）		<u>83 件</u>
要介護度状況	： <u>平均要介護度 1.89</u> （要支援1・2を除く）	

2021年度 事業報告

法人本部

1. 各部・課の活動状況

●経営管理部

【財務課】

- ・理事会（6月・7月・10月・1月・3月）、評議員会（6月）の開催
- ・経営管理会議の開催（毎月開催）
- ・各種補助金の請求等の支援
- ・定款変更等行政に対する認可申請事務（7月）
- ・経理規程の改正
- ・決算・予算及び各月次確定財務諸表作成事務
- ・財務諸表等電子開示システム活用による行政等への申請（6月）
- ・各種会議への参加、他
- ・改正社会福祉法に関する会計監査人による会計監査の実施（期末5月、中間12月・1月）
- ・監事監査の実施（6月・7月・10月・1月・3月）

【情報システム課】

- ・ICTロードマップ（2017年度～2021年度）の則り推進
- ・介護システム更新プロジェクトの発足
- ・介護LIFEシステム環境の導入支援
- ・セキュリティ対策として外部メールのパスワードの一斉変更を実施（全施設）

【購買担当】

- ・屋上から漏水の2施設の防水部分補修作業を実施し、漏水の再発がないことを確認
- ・10年以上経過施設を訪問し建物設備劣化状況の把握、および設備管理方法の指導実施

●総務人事部

- ・人事検討会議の開催（10回開催）
- ・総務担当者会議の開催（1回開催）
- ・人事評価制度の定着と活用の推進
- ・法人広報による魅力発信
- ・キャリア向上のための資格取得支援
- ・障害者雇用の推進と理解の浸透
- ・外国人留学生・外国人技能実習生の受入支援

【総務担当】【総務課】

- ・受託業務の申出・契約・請求等の支援
- ・キャリアアップ助成金、人材開発支援助成金の申請等の支援
- ・就業規則、給与規程等の改正
- ・職員の定数管理
- ・時間外勤務状況の管理
- ・年次有給休暇取得状況の管理

【キャリア支援担当】【キャリア支援課】

- ・法人本部主催のテーマ別研修会の開催（8回：参加者 延269名）
- ・接遇研修および接遇実践報告の開催（2回：参加者 延82名）
- ・新入職員研修の開催（3回：参加者 延122名）
- ・新入職員フォローアップ研修の開催（3回：参加者 延44名）
- ・中堅管理職講座の開催（5回：参加者 延52名）
- ・認知症介護基礎研修の開催（2回：参加者 延27名）
- ・受験対策講座

- 介護支援専門員受験対策講座の開催 (2回：参加者 延 15名)
- 介護福祉士国家受験対策講座の開催 (5回：参加者 延 64名)
- ・オンライン(テレビ会議・Zoom)による研修会・各種講座の支援：延606名(前年比221名増加)
- ・ストレスチェック実施支援：受検率90.1%(前年比4.8ポイント増加)

●事業推進部

- ・新規事業開設、再編の支援
- ・老健上位類型取得・維持支援
- ・稼働率向上のためのアクションプラン作成支援
- ・介護報酬改定対応
- ・各加算の申請状況、取得状況の管理
- ・科学的介護の推進支援(LIFE関連加算の算定状況の管理)
- ・介護ロボット補助金の申請支援
- ・ICT化の進捗状況の管理(Wi-Fi環境、介護記録の電子化、センサー、インカムの導入状況)
- ・ICT化による業務改善の推進支援
- ・特養待機者の管理・共有
- ・特養、老健における入院理由、退所理由の管理・分析
- ・介護職責任者会議の開催
- ・特養相談職会議の企画・開催
- ・通所介護管理者会議の企画・開催

【リハビリ担当】【リハビリ課】

- ・法人リハ代表者会議(11月)
- ・リハビリ課定例会議(毎月)
- ・溪仁会グループリハ責任者会議(毎月)
- ・溪仁会グループリハ研修委員会(隔月)委員2名
- ・老健リハ会議(5・1月)
- ・特養リハ会議(6・12月)
- ・訪問系リハ会議(8・2月)
- ・通所介護リハ会議(2回予定していたが、いずれも中止)
- ・ST合同会議(5・8・11・2月)
- ・職員の各施設への訪問：コミ美唄への訪問を実施
- ・養成校の就職説明会(オンライン・情報提供・リクルート用動画の活用等)参加(4校)
- ・養成校への求人、職能団体への募集広告活動実施、リクルート用動画を施設のホームページに掲載し活用中
- ・高校生向けの修学資金貸付制度は該当者なし
- ・溪GP新人職員病院説明会(今年度は開催なし)
- ・溪GPリハ研修会(オンライン)、社福リハ職22名参加(11月)、
当日参加のなかったコミ美唄・八雲の両施設においては、後日DVD等にて全員視聴済み
- ・溪GPリハ交流研修は、今年度は中止
- ・社)溪仁会リハ栄養合同研修会(オンライン)「栄養とリハビリテーション」42名参加(9月)
- ・コミ白石・あさがおりハ研究発表会(3月に4日間・計19演題)
- ・施設間の異動や人員の調整(異動2名)
- ・言語聴覚士派遣(2回/週～1回/月)：敬樹園、月寒、手稲、きもべつ、るすつ、コミ美唄、コミ岩内
- ・作業療法士派遣(2回/月)：きもべつ、るすつ
- ・療法士派遣
コミ美唄：1名/年(延2名)
- ・生活機能向上連携加算/毎月
特養：敬樹園、月寒、手稲、菊水、きもべつ、るすつ
DS：白石の郷、円山、手稲つむぎ、手稲織彩、敬樹園、月寒
各連携セラピストが電話やオンライン等、一部対面により実施
生活機能向上連携加算の書式を改定し、上半期の段階で各施設において完全移行
- ・喜茂別町地域支援事業(毎月)

- ・ST合同会議から、MASA、MMASA（運下障害アセスメント）、CONUT（栄養評価指標）の運用開始
- ・研究発表（湊仁会グループ研究発表会：4演題）
- ・法人リハ職の新人研修プログラム（オンライン/対面）を実施：対象職員4名、4月と1月に計31コマ実施
- ・各施設リハ部門の内部研修の水平展開
- ・毎月の現況報告による各施設・事業所のリハ職の常勤換算数と情報収集
- ・介護報酬改定のリハ関連加算、LIFE関連取得の推進
- ・訪問系リハ事業の拡大：10月にコミ岩内・コミ美唄にて事業開始
コミ白石で非常勤医師の配置、白石・あおばで療法士を増員
- ・実習受入施設の拡大と臨床実習指導者講習会に参加（3名）
- ・地域での他職種向け研修会、介護予防教室、地域ケア個別会議、地域ケア推進会議等への派遣
（コミ白石10名、コミ岩内21名、コミ八雲5名、延36名）
- ・法人リハ職のキャリア・ラダーを改訂

【栄養管理課】

- ・栄養管理課担当者変更
- ・札幌施設間異動（西円山敬樹園・月寒あさがおの郷・手稲つむぎの杜・コミュニティーホーム白石）
- ・介護報酬の栄養関連加算取得の把握（各施設からの月報取り纏め）
- ・購買評価により給食委託業者の評価を共有化
- ・利用者満足度向上の為のアンケート調査の実施
- ・サラネット栄養士レシピ原稿担当調整（2022～2023）
- ・リハ・栄養合同研修会（9月）講義・事例発表
- ・リハと栄養の連携を確認
- ・栄養管理者会議（9月）（オンライン／情報共有・交流）
- ・新規加算取得に向けての管理栄養士の採用
- ・施設栄養士へのサポート

●業務管理部

- ・監督官庁実地指導（監査）立会い（2事業所）
- ・事業所事故報告確認（監督官庁報告210件）
- ・KMS推進支援（KMS会議・KMS内部監査・ISO維持更新審査）
- ・研修支援（リスクマネジメント・虐待防止・ハラスメント防止）
- ・苦情対応に関する支援（第三者委員含む）
- ・法令遵守に関する支援（相談対応、自己点検）
- ・ハラスメントに関する支援（コンプライアンス室に協力1件）
- ・訴訟に関する支援（1件）
- ・新型コロナウイルス感染症に関する支援（マニュアル更新、感染情報収集・情報発信、グループ対策会議）